

美術年報

1998



徳島県美術家協会

徳島県美術家協会

目 次

| | | | |
|--------------------------------|------------------------|--------------|----|
| はじめに | 徳島県美術家協会長 佐野 比呂志 | 1 | |
| 徳島県美術家協会規約 | | 3 | |
| 平成8年度事業報告 | | 4 | |
| 役員名簿(平成9・10年度) | | 7 | |
| 徳島県美術展開催運営要項 | | 12 | |
| 第52回県展記録 | | 16 | |
| 徳島県美術展審査員一覧 | | 24 | |
| 第52回県美術展出品・入選等状況 | | 28 | |
| 第6回放美展記録 | | 29 | |
| 各部記録(平成9年度) | | | |
| ・日本画部 | 部会長 中川 健 | 34 | |
| ・洋画部 | 部会長 永山 隆二 | 37 | |
| ・写真部 | 部会長 櫛淵 魏 | 45 | |
| ・彫刻部 | 部会長 松永 勉 | 48 | |
| ・美術工芸部 | 部会長 山上 馨 | 50 | |
| ・書道部 | 部会長 新居 藍州 | 54 | |
| ・デザイン部 | 部会長 福井 章 | 58 | |
| 会員名簿 | | | |
| ・日本画部 | 64 | ・美術工芸部 | 73 |
| ・洋画部 | 65 | ・書道部 | 74 |
| ・写真部 | 69 | ・デザイン部 | 88 |
| ・彫刻部 | 72 | | |
| 第52回徳島県美術展(県展)公募規定 | | | 89 |
| 第52回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名 | | | 90 |

あとがき

はじめに

平成9年、第6回放美展は、5月1日（木）～5日（月）の5日間の会期だったが、祝日、日曜日の3連休とも重なり、観覧者数も第5回展をはるかに越え、4,587名。春の県公募展としてすっかり定着し、盛会となったことはその目的を十分達成することが出来た。

第52回県美術展は、第1期が、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門で、11月8日（土）から16日（日）まで開催され、第2期が書道で、11月17日（火）から、25日（火）まで開催された。展示総数は、第1期の6部門で646点、第2期書道が583点、計1,229点で、入賞96点、入選1,003点、無鑑査等130点であった。

内容も年を重ねて充実、各部門の審査員も等しく高いレベルであると評された。これもひとえに出品者の方々が、多くの中央展以上に厳選である県展の宿命にも負けず、挑戦を続ける情熱と真摯な努力にほかならない。出品者の皆様にあらためて、敬意を表し深い感謝の心で一ぱいである。

次に各部門における活動や、関係美術団体或いは協会個人の活動も例年におとらずさかんであった。特に10月5日（日）から11月15日（土）まで開催された徳島彫刻集団35周年記念野外彫刻展は、兵庫県彫刻家連盟も協賛7名の作家が県作家の上に加わって、記念展の面目躍如たるものがあった。

個人の活動で特記しておきたいものを次にあげる。

6月中旬に島川君子展が、日展入選作など40点の油絵を展示、初の個展で木偶など郷土色豊かなよい作品展であった。7月上旬には大津文昭彫刻展が1950年代から最近の作品まで、33点展示、40年にわたる制作の軌跡をたどる展覧会として好評。9月は玉城乾香書展、愛と書パートⅡ春夏秋冬のタイトルで近代詩文、漢字など65点を発表し盛会。日本画の岩瀬洋子、玉谷明美二人展も愛好者をよろこばせた。10月の美術工芸の四十宮年代個展も、創作刺しゅうと手絞りすなご染め、30年の集大成を発表、力作を見ることが出来た。10月下旬には、県洋画界草分けの元老で、第1回県展から活躍の中川隆史水彩画個展、県展招待作家でもあり、初の個展、90才を迎えるという年令を越えて、具象抽象の美

を余すところなく発揮した。11月には、美術家協会理事の長尾弘子立江寺障壁画展が開催された。制作に3年余りをかけたという大作労作で、ハスや菖蒲をしとやかに咲かせた日本画ならではの美しさに訪れた人たちを堪能させた。

さらにデザインの敷島のり子さんが、最も権威ある国際展第5回世界ポスター・トリエンナーレ・トヤマ1997に入選の榮譽をかちとった。県人の入選は初めてで、作品は「悲しみのメッセージ」。今回は52ヶ国から2,179点の応募があり、329点が入選、この快挙は、あらためて衷心より祝福をおくりたい。

昨年に続いて今年も追悼のことばを記すことになるが、美術家協会の顧問で写真家福島正仁先生が、6月17日83才で死去された。福島先生は、僧の身分でありましたが、一生の大半をカメラとともに生きられた。徳島新聞社写真部長そして美術家協会でも初代写真部部会長、副会長、顧問を歴任し、県写真界に残した功績は非常に大きい。平成2年には功労者として文部大臣賞を受賞された。心から哀悼の意を表する。洋画部会の笹川五月さんもなくなられた。県展、青美展で活躍され、円満でしかも熱意のある作家で、冥福をお祈りする。

さいごに四国放送（放美展）、徳島新聞社（県展）並びに美術家協会の皆様方のますますのご発展を祈り、はじめのことばとする。

平成 10 年 3 月

県美術家協会会長

佐 野 比呂志

徳島県美術家協会規約

| | | | | |
|-------|-----|----|------|--------|
| 昭和23. | 9. | 12 | 規約制定 | |
| | 32. | 7. | 14 | 新規約制定 |
| | 33. | 4. | 29 | 規約一部改正 |
| | 42. | 4. | 23 | 〃 |
| | 46. | 4. | 29 | 〃 |
| | 47. | 5. | 29 | 〃 |
| | 49. | 8. | 22 | 〃 |
| | 52. | 7. | 23 | 〃 |
| | 56. | 5. | 5 | 〃 |
| | 58. | 6. | 5 | 〃 |
| | 61. | 6. | 21 | 〃 |
| 平成4. | 6. | 27 | 〃 | |
| | 6. | 6. | 25 | 〃 |

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
(ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

- 会 長 副会長（2名）
理 事（若干名）監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員は任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員を選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

- 部会長・委員（部会員数の3割以内）
部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員は任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員を選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,550円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,100円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッヂを選定（図案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～4名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫塑・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

平成8年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成8年6月29日
 - 県郷土文化会館 5F第7会議室
 - 平成7年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 平成8年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成8年9月28日 県展、文化奨励賞について
 - 平成9年3月29日 県文化協会関連事業について
- (3) 第51回県美術展
 - 第1期 平成8年11月10日(日)～17日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの652点
展示
 - 第2期 平成8年11月19日(火)～26日(火)
前期 11.19～11.22 後期11.23～11.26 書道の590点
展示
 - 第51回展受賞者表彰式 平成8年11月9日(土)阿波観光ホテル
- (4) 第5回放美展
 - 平成8年5月8日(水)～5月12日(日)
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
586点展示
 - 受賞者表彰式
平成8年5月12日(日)県郷土文化会館 第7会議室
- (5) 「徳島県美術展50年の歩み」刊行配布
 - B5版 348頁
 - 内 容 主催者あいさつ、特別賞贈呈者からのことば、県美術展の
歩み、各部会の窓、県展審査員評から、随想：県展の思い
で、県展座談会、50年の記録など
- (6) 県展・放美展会議
 - 第51回県展運営委員会・県展事務局員会議
(平成8.5.25、8.9.21、8.12.9、9.2.22)
 - 第5回放美展運営委員会(8.4.27、8.6.8)
 - 第6回放美展運営委員会(8.12.7、9.2.1)

- (7) 各部会行事
- 日本画部
第51回新作日本画展（8. 7. 19～21）県郷土文化会館
 - 洋画部
第11回洋画部会員展（8. 5. 30～6. 2）県郷土文化会館
 - 写真部
「尾道市」写真撮影会（8. 6. 23）
 - デザイン部
「環境とデザイン展」（8. 12. 20～23）県郷土文化会館
- (8) 各種後援
- ～日本のうた ふるさとのうた～わが心の風景画展
(8. 4. 16～4. 30)
 - 第11回正鋒会書作展 (8. 4. 19～4. 21)
 - 第20回全美展 (8. 4. 26～4. 29)
 - 第13回チャリティー田中双鶴書作展 (8. 4. 30～5. 6)
 - 第41回成蹊書道会展 (8. 5. 2～5. 4)
 - 第19回写真同人「炎」作品展 (8. 5. 3～5. 6)
 - 三谷ミヤ子個展 (8. 5. 9～5. 12)
 - 第10回四国大学書道コース教員9人展 (8. 5. 24～5. 26)
 - 第19回八虹展 (8. 6. 6～6. 9)
 - 第5回記念一書展 (8. 6. 28～6. 30)
 - 石井美術の会夏の作品展 (8. 7. 18～7. 21)
 - 第55回世代美術展 (8. 7. 18～7. 21)
 - 第51回新作日本画展 (8. 7. 19～7. 21)
 - 第3回大耿会書作展 (8. 7. 26～7. 28)
 - 第22回克展 (8. 8. 2～8. 4)
 - 第12回あすなろグループ美術展 (8. 8. 23～8. 25)
 - 第5回記念砂光篆会作品展 (8. 8. 30～9. 1)
 - 第59回書芸院展 (8. 9. 5～9. 8)
 - 第26回東玄書道会展 (8. 9. 6～9. 8)
 - 第14回双愛会書作品展 (8. 9. 6～9. 8)
 - 第19回泉心会書作展 (8. 9. 13～9. 16)
 - 第25回徳島雪心会書作展 (8. 9. 14～9. 16)
 - 第51回青美展 (8. 9. 20～9. 23)
 - 第9回臯玄書道会展 (8. 9. 21～9. 23)
 - 第26回直心会書展 (8. 9. 21～9. 22)
 - 第23回旺玄会徳島支部展 (8. 9. 22～9. 28)
 - 第28回石井美術の会作品展 (8. 9. 26～9. 29)

- 第41回書協人展 (8 . 9 . 27 ~ 9 . 29)
- 第 4 回尚真書展 (8 . 9 . 27 ~ 9 . 30)
- エナジー '96/第 2 回徳島県障害者芸術祭 (8 . 9 . 28 ~ 10 . 6)
- 第 4 回聖邨一門書作展 (8 . 10 . 4 ~ 10 . 6)
- 第11回藍美展 (8 . 11 . 1 ~ 11 . 4)
- 第 8 回睦月会書展 (8 . 11 . 2 ~ 11 . 4)
- 乾繁春洋画展 (8 . 11 . 7 ~ 11 . 10)
- 第31回書道研究清潮書作展 (8 . 11 . 13 ~ 11 . 15)
- 古稀記念チャリティー長原阜鵬書作展 (8 . 11 . 20 ~ 11 . 25)
- 第17回書研社展 (8 . 11 . 23 ~ 11 . 25)
- 成蹊書道会第 1 回15人展 (8 . 11 . 30 ~ 12 . 2)
- 第26回四国大学書道コース学外展 (8 . 12 . 6 ~ 12 . 8)
- 第25回歳末チャリティー色紙・作品即売展 (8 . 12 . 13 ~ 12 . 15)
- 第 2 回 6 書展 (8 . 12 . 13 ~ 12 . 15)
- デザイン部会展「環境とデザイン展」 (8 . 12 . 20 ~ 12 . 23)
- 退職教職員協議会作品展 (9 . 1 . 28 ~ 1 . 31)
- 第28回ナルトぴんぼけクラブ写真展 (9 . 2 . 9 ~ 2 . 11)
- 第22回四国大学文学部書道コース卒業制作展 (9 . 2 . 21 ~ 2 . 23)
- 第15回書道研究所書作展 (9 . 3 . 7 ~ 3 . 9)
- 第23回桂鳴書道展 (9 . 3 . 21 ~ 3 . 23)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補の推薦すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、空港券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する可能性があるが、原則として次の範囲内に止める。

| 部門 | 区分 | 特選 | 特別賞(52回展の場合) | 準特選 | 奨励賞 | 入選 |
|------|----|----|--------------|-----|------|-----|
| 日本画 | | 2 | 徳島市長賞 | 3 | 3以内 | 規定数 |
| 洋画 | | 3 | 徳島新聞社長賞 | 5 | 5 " | " |
| 写真 | | 4 | 四国放送社長賞 | 8 | 8 " | " |
| 彫刻 | | 1 | 徳島県美術家協会会長賞 | 2 | 2 " | " |
| 美術工芸 | | 2 | 徳島県知事賞 | 3 | 3 " | " |
| 書道 | | 8 | 徳島県議会議長賞 | 13 | 13 " | " |
| デザイン | | 2 | 徳島県教育長賞 | 3 | 3 " | " |

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。
2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料・協賛費)

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会の出品料は1点2,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点3,500円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点2,500円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |
| 3 | 中学生 | 前売り | 150円 | 当日 | 200円 |

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- 平成4年2月22日 一部改正
平成4年5月16日 一部改正
平成8年5月25日 一部改正

第52回県展記録

会期 (第1期) 平成9年11月8日(土)~16日(日)
(第2期) 平成9年11月18日(火)~25日(火)
会場 県郷土文化会館

日本画

〔審査員〕 那波多目 功一

〔招待〕 中川 健 岡 英彦 土方るみ子 西野 和男 土井 洋子

〔賛助出品〕 森 篤苑 高田 瑞雪 長谷 壽 釣島 冬樹

〔特選〕 反田 卓 (徳島市長賞)

板東 博美

〔準特選〕 斎藤 春子 江本美千代 坂 容子

〔奨励賞〕 四宮 恵美 藤村美津子 日浦 猛史

〔入選〕 井内カヨ子 曲田 裕美 三木 義博 柳田ハマエ 市川 義幸

厚田 文子 永井 貞枝 宮越 千佳 柳田 一子 吉坂美智子

平野ひろみ 佐藤 晴子 佐藤めぐみ 中西 芳雄 坂本美代子

林 えつ子 井村ひろみ 久保脇吉二 藤原 満代 秋元よし子

吉田 満子 黒田 實 冨田 達子 橋本 隆雄 斎藤貴美子

鶴 悦子 坂本 久江 西口 光代 村松多美子 西村美也子

福田佳代子

洋画

〔審査員〕 松樹 路人

〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二 長井 公雄

〔招待〕 清水 亟愼 川原 康孝 楠瀬 等 高橋 敬 立岩 巖

露口 敏幸 服部 裕 岡本 征二 長尾 弘久

〔賛助出品〕 浅田 二郎 天野 節 大神 良代 岡 多美子 柏木 雅雄

河田 安市 黒崎 志郎 後藤田仁一 板東 俊一 榭田 務

松川 寛 岡田 守

〔特選〕 越久 高照 (徳島新聞社長賞)

島川 君子 南城ミツ子

〔準特選〕 関 政明 宮田 京子 木下 和江 林 伸也 大西 文代

〔奨励賞〕 浜田 益子 西崎 志帆 吉田収二郎 西條 明彦 下内 裕次

〔入選〕 中山 清一 辻野 正廣 武田 洋子 井沢 忠昭 阿部 昌子

井上 清佳 鈴木 明雄 長田 武夫 片山 富市 伊勢 浩章

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 松尾 泰子 | 川田 績 | 松浦 節子 | 島村 英之 | 中辻奈美枝 |
| 浜尾みつこ | 三谷ミヤ子 | 藤本 茂 | 佐藤 友美 | 出張 徳夫 |
| 町田 美香 | 山下日出子 | 乾 繁春 | 神戸 妙子 | 真野 孝彦 |
| 岩谷 明 | 増喜 昭文 | 唐渡 覚 | 島上 二郎 | 吉田 実 |
| 桐島 豊子 | 宇高 桂子 | 浅井 香織 | 平尾マサミ | 福富 正二 |
| 新田 恭子 | 杉本 澄子 | 藤井 香世 | 前野 亮治 | 坂東佳代子 |
| 佐藤 敬子 | 西川 周三 | 大西利津子 | 谷口 節 | 安田 正 |
| 豊実 和夫 | 福良 哲子 | 達見かおる | 原 たず | 林 康太郎 |
| 小川しのぶ | 元廣 俊子 | 三木 好子 | 玉田 秀子 | 住友富美子 |
| 島田美奈子 | 林 静代 | 吉田 文雄 | 若山 一恵 | 佐々木 超 |
| 騎馬 政美 | 岡田 克美 | 藤崎 恭子 | 関 京子 | 村上美智子 |
| 河本多恵子 | 本田 幸 | 田中 康子 | 大石 明健 | 為実美恵子 |
| 高橋 朗子 | 田野 安子 | 伊原 妙子 | 曾我部秀子 | 浅山 久子 |
| 藤丸 家榮 | 待田 嘉子 | 郡 洋子 | 大野 文雄 | 京寛 裕子 |
| 大平 数子 | 中本真由美 | 宮井 一三 | 岩佐 千代 | 市村 千恵 |
| 藤本 晴子 | 大塚 政孜 | 村瀬 皐月 | 市川 欣也 | 河野シゲ子 |
| 三谷多美子 | 岡田 和泰 | 近藤 克子 | 増井 厚子 | 丸関 朋子 |
| 高橋 恵 | 岸本 花子 | 森 直哉 | 後藤ユリ子 | 志摩 政照 |

写 真

- 〔審査員〕 細江 英公
- 〔招待〕 増田 清次 井上 光雄 木田 英之 西條 征二 勝西 雅夫
 藤井 梵 武内 亨 笹田 敏雄 櫛淵 魏 酒井 博司
 三好 和義 上野 照文 森 賢一 橋本 圭祐 安長 剛
 前浦 芳久 荒井 賢治 林 敏彦 多田 晴美 古井 謙吉
- 〔無鑑査〕 大和 健司 中野 建吉 船越 正文
- 〔特選〕 川端 武夫 (四国放送社長賞)
- 〔準特選〕 坂田 能啓 柳本 正 逢坂 登
 川真田慶治 井藤 光章 佐野 始志 多川 静守 尾崎 利男
 吉村 敏嗣 井上 翔 久保 英樹
- 〔奨励賞〕 野藤みきよ 増田 寿 大野 泰子 今出 弘 管蔵 数久
 大津 勝治 国見 良幸 尾崎 益貴
- 〔入選〕 川真田慶治(3) 長谷 昌男(2) 佐藤 考利 野藤みきよ(2) 野藤 敏美(2)
 小林 利美 井上 憲治 佐野 辰夫(2) 鴻野 孝 佐治 孝
 増田 寿(3) 中川 定典(2) 井藤 光章(5) 板東 敏晴(2) 大野 武(4)

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 小林 保子 | 妹尾 早苗 | 矢野 志江 | 中島 敏子 | 堀口 幸男(3) |
| 阿部 啓三 | 栗田ふさえ(2) | 今出 弘 | 原田 武二 | 伊達 照子 |
| 吉田 圭作 | 河田 清(2) | 三木 理司 | 村沢 義清 | 横山 勘一 |
| 一宮 由子(2) | 毛利 次郎 | 清水 定七(4) | 岩本 忠幸 | 清水 宗保(9) |
| 林 晴之(2) | 管蔵 数久 | 佐々木恵子 | 藤島 福生 | 河口 勝次 |
| 坂田 稔氏 | 村井 寛 | 割石晴二郎 | 後藤 正巳(2) | 長瀬 正任 |
| 藤本 宗子(2) | 妹尾 武宣 | 瀬尾美智代 | 関口つとむ | 尾崎 勇人 |
| 佐藤 哲夫 | 潮 満寿子(2) | 上原 嘉美 | 柳川 信子 | 中辻 末光 |
| 氏師 敏晴(2) | 田処 正明 | 吉川 和雄 | 上杉 大一(5) | 多川 静守(8) |
| 梅久 匠 | 故島 永幸(2) | 阿部 良昭 | 原井 裕夫 | 森山 利明(2) |
| 大西 健司 | 柳本 正(4) | 小原 治 | 横田 正敏(2) | 内田 澄子 |
| 山城三重子(2) | 木下 昇 | 結城 省三(2) | 尾崎 利男 | 岸上 俊博 |
| 割石 晴美(2) | 川端 武夫 | 谷 賢太郎 | 浦上 文夫(2) | 吉村 敏嗣 |
| 川口 進 | 井上 翔(2) | 佐竹 清(2) | 竹内 勝(2) | 赤木 昭子(2) |
| 森住 博(3) | 播 博文(2) | 前坂 祥文 | 向 儀一郎 | 国見 良幸 |
| 美馬 準一 | 姫田 慎治 | 宮野 菁伍(2) | 後藤 和美(2) | 新居 丈市 |
| 岡村 清(6) | 三好 友明 | 宮川 茂 | 笹尾 佳一 | 東丸 定子 |
| 守原 修 | 岩崎 英昭(2) | 岡本 清憲(2) | 久保 英樹(8) | 大西 啓子(3) |
| 須見 博文(2) | 溝渕 寛治(2) | 折野 理悦 | 宮本 幸治(2) | 佐藤 義雄(3) |
| 三谷 敏行 | 牧本 正 | 坂東 鶴雄 | 尾崎 益貴 | 坂東 裕子(3) |
| 板東よしお | 日出 顕作 | 坂東 進(9) | | |

彫 刻

〔審査員〕 石井 厚生

〔特別出品〕 河崎 良行

〔招待〕 佐藤 隆 濱口 恵 井下 俊作 鎌田 邦宏 松永 勉

〔無鑑査〕 蒔田 寿

〔賛助出品〕 長岡 強

〔特選〕 阿部 佳代 (県美術家協会会長賞)

〔準特選〕 居上 真人 笠井 正彦

〔奨励賞〕 渋谷 吉昭 中村 雅子

〔入選〕 中川 伸一 阿部 裕司 妙玄 梨絵 野口 智加 益田 耕次

吉見 俊介 椋本 幸男 東 光司 小林 正則 中田 敏之

中辻 潤 阿部真一郎 美馬 智子 笠井 瑠美 池田 有紗

小川 雅代 加藤美津子 遠藤恵美子(2) 安藝 逸郎 北原由美子

美術工芸

- 〔審査員〕 栗木 達介
- 〔特別出品〕 山上 馨
- 〔招待〕 新居 猛 高橋 勇 森 昌男 七條猪三郎 多智花佐代子
 松下 雄介 松下 慶一 森 賢一 橋 恵
- 〔贊助出品〕 村上 正典 中川 存
- 〔特選〕 丸居 哲雄 (徳島県知事賞)
 平井 恵子
- 〔準特選〕 犬伏 絢 岡崎 益子 矢野順三郎
- 〔奨励賞〕 井後 善朗 吉田 敏明 矢藤 明美
- 〔入選〕 川真田 弘 野村 裕子 椎野 寿子 越 由子 宮本 真弓
 日岡 健二 橋本 一成 宮本 孝 斎藤 和彦 井後 宏
 金沢 美穂 福本アヤ子 川真田泰裕 伊豫 義之 阿部 一雄
 山本 義子 武田 美子 阿部 俊江 井村アイ子 吉田 真弓
 藤井 哲信 北島 洋史 川添 哲 徳川 道泰 堺 都美子
 楠 博子 住友 良英 富永 裕子 杉原 素子 阿部 徳子
 西川 和美 戸田 智 北村久美子 四宮 千代 有内 麻里
 四十宮年代 吉成 亀雄 野田 理人 長尾 重美 宇山 裕子
 寒川 治雄 桜井 慎治 矢野 舞 隅田 良佑(2) 国井 秋子
 吉田 晃子 青木 房江 永山昭一郎 山田 和子 南 操
 山本 和子 加藤 伴江 富田ちえ子 樫原 道雄 高原真理子
 角田美富根 近藤 鶴代 天羽千津代 橋 美根子 吉田 満子
 四宮 麗子 樫原フサ子 森 明治 出口 雅彦 龍木 秀子
 鷯山 早苗 島田 弘美 綱木 麻男 丸居 哲雄 山川志津子
 岡田 好史 前野 育代 天野 和子 大田 裕子 矢野順三郎
 新見 清香 天羽 恵子 田村 佳代 田村 祐子 吉田 陽子
 田村栄一郎 折原 香子 森 悦光 渋谷志津子 林 広

書 道

- 〔審査員〕 甫田 鶏川 小山やす子 石飛 博光
- 〔特別出品〕 荒井 天鶴 田中 双鶴 田中 栢翠 新居 藍州 讃岐 泰泉
- 〔招待〕 久保 幽香 宮井 青雨 長原 阜鵬 高原 清泉 西 南龍
 成尾 荘秀 渡辺 草石 原田 霄月 芝原 醒鶴 前川 古舟
 清水 桂月 美馬幾美賀 春藤 大耿 岸 潮風 中谷 史子

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 長谷 美峰 | 勝瀬 景流 | 川上 虹泉 | 三間 好鷺 | 近藤 静苑 |
| 上田 溪水 | 日下 溪翠 | 岡島 順子 | 荒井 彭仙 | 竹田 和代 |
| 山口 華城 | 藤若 美風 | 武市 鳴雲 | 中尾 勝子 | 佐藤 真 |
| 富久 鳴泉 | 永松 春苑 | 島田 小園 | 吉岡 景鵬 | 坂本 霄風 |
| 浜 佳香 | 隅田 英二 | 松本 清香 | 多田 清芳 | 玉城 乾香 |

〔無鑑査〕 高田 青蓮 三浦富美代

〔贊助出品〕 東 南光

〔特選〕 薄田喜代子 (県議会議長賞)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 横田あかね | 古川 恵巳 | 能仁佳仔子 | 枝川 照子 | 河野 静江 |
| 高橋美知江 | 長野 裕子 | | | |

〔準特選〕 相原 美香 高田 嘉代 豊浦 佳子 海原 進 谷本 洋子
 井内 愛 東 弥生 宇山 安俊 亀石 二三 岩本 雅三
 平岡 郁子 山口 文子 林 浩一

〔奨励賞〕 吉成啓一郎 米澤 司子 元木 英文 立石 桂子 戸出 浩子
 上田 普 中西 甫子 辻 映子 脊川 章子 佐藤 恵子
 佐藤 正江 横谷千代美 佐藤由紀代

〔入選〕

漢字の部

| | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (前期) | 牧野美弥子 | 前田ミサ子 | 谷 貴美子 | 九十九知美 | 笠松八重子 |
| | 和泉美津子 | 前田 麻子 | 市川美智子 | 釜内 深雪 | 吉田 京子 |
| | 藤川 幸栄 | 藤村 恭子 | 清水 恵美 | 藤岡千江子 | 沖田 章代 |
| | 美馬 潤子 | 阿部 千明 | 坂東 武 | 横山 弘美 | 谷口 統雄 |
| | 高井 初子 | 藤田喜美代 | 岡島 倍子 | 園尾 淑子 | 中西 昭三 |
| | 花木トヨコ | 三谷 展子 | 富永トモ子 | 岡島 由佳 | 伊藤 華子 |
| | 細川 武治 | 橋本麻衣子 | 丸岡 真弓 | 児島重一郎 | 折上 和美 |
| | 西野 幸 | 片山 保 | 山地 靖子 | 山本きよみ | 吉田 和子 |
| | 小出 圭子 | 定本 宏美 | 丸谷美代子 | 黒田 美穂 | 久積 晃 |
| | 秦 照子 | 武田 陽子 | 森 千晃 | 奥田 文子 | 折野 茂幸 |
| | 大野シゲ子 | 須田美由紀 | 川本 由香 | 山内 紀隆 | 真田 秋江 |
| | 安田ひろ子 | 天野 和子 | 吉平 順子 | 亀石 二三 | 三角 稔恵 |
| | 吉本 和代 | 増田 美幸 | 伊勢 浩美 | 阿部 由子 | 表原 輝実 |
| | 田中 育子 | 正木 美佳 | 田中 久恵 | 久保 朝子 | 中野 立美 |
| | 大本由紀子 | 八木 澄江 | 橋本 康喜 | 福家 佳余 | 七條 加奈 |
| | 小西貴美子 | 竹島 智子 | 鎌村 明子 | 小津美奈子 | 井上加奈子 |
| | 吉永 幸代 | 小林悠奇乃 | 星川 三保 | 伊月 優 | 筒井 由紀 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 坂上 喜美 | 武田 糸保 | 原田真由美 | 吉田 幸代 | 村沢健太郎 |
| 西 直子 | 福永 麻里 | 山城 輝子 | | |

(後期)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 酒井 しず | 多田カオル | 酒井やすえ | 笠松八重子 | 田村 栄子 |
| 長尾久美子 | 粟飯原優子 | 吉岡 愛子 | 井内 裕子 | 植村 恭子 |
| 川上 益世 | 藤村 恭子 | 熊代 厚子 | 沖田 章代 | 小松 美佳 |
| 矢部 知子 | 青木 博美 | 加藤 玲子 | 富永 恵以 | 松永 浩子 |
| 高田由里子 | 中川 博雅 | 中川 富量 | 柴田 勝 | 北村 浩子 |
| 北村 州磨 | 吉野ゆかり | 鈴木 正友 | 岡島 有里 | 中尾 保 |
| 新居 鉄郎 | 春藤 秀子 | 富永泰寿子 | 馬居美智恵 | 黒橋由加里 |
| 松下 寅雄 | 松永 裕子 | 横田 岩夫 | 橋本 一成 | 上地 祥子 |
| 原田 尚文 | 野村 淳平 | 村部 幸子 | 桑田 次雄 | 洲崎 忠雄 |
| 速川 孝恵 | 笠原 笑子 | 陶久 房枝 | 中川恵美子 | 紅露 照雄 |
| 田中 里依 | 國方 智子 | 岡田 訓江 | 須見 智香 | 中尾三智子 |
| 吉成 嘉代 | 平野 実 | 真鍋 一美 | 辻 尚子 | 森脇 千裕 |
| 米原 悦司 | 三條 宣隆 | 佐藤 一美 | 河野 雅美 | 品川亜沙美 |
| 矢野由美子 | 田村 実 | 林 みゆき | 横田 雅夫 | 斎浦 るみ |
| 河野多美子 | 黒田 早苗 | 片山 浩 | 川村 真澄 | 松浦 幸子 |
| 豊原 淳子 | 楓 由佳 | 浅川 陽子 | 横田 典子 | 森岡 暁子 |
| 橘 美希 | 前原 百江 | 南方 由美 | 栗野 安代 | 上野 敦代 |
| 高田麻津咲 | 岡崎 有美 | 椎野 薫 | 播磨 恭子 | 妹尾 敏子 |
| 西野 道夫 | 部 品子 | | | |

仮名の部

(前期)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 鈴江美音子 | 川人 皓 | 佐藤 松子 | 米田 重子 | 株本マサノ |
| 武市 勝恵 | 高島 正雄 | 関根 史子 | 井内 裕子 | 堤 薫子 |
| 吉岡 栄子 | 法村 暁子 | 西浦 智頼 | 宇津 清子 | 浅野 義雄 |
| 篠原 加奈 | 瀧倉 理恵 | 福田世津子 | 岸田いち子 | 高見 典子 |
| 木村 弘子 | 古郷 弘江 | 井川 幸子 | 中村 絢子 | 福島 由子 |
| 日和田裕子 | 向井 京子 | 大野 陽子 | 弥木真佐子 | 椎本 敬子 |
| 朝井 邦子 | 鶴澤 静佳 | 程野 政子 | 宮守 とみ | 鶴本 彰子 |
| 徳山 正光 | 楠瀬 恭子 | 木田 嘉子 | 椎野 国子 | 阿部 智恵 |
| 市橋ヒデコ | 遠藤 由子 | 岡島 公子 | 水口 久枝 | 新納 房子 |
| 根津不美子 | 福良美代子 | 大西 順子 | 生田 勝子 | 大島 弘子 |
| 森 弥生 | 武田 詩夜 | 高島 智子 | 上田 久恵 | 増田 愛子 |
| 坂野 雅子 | 坂東 光子 | 上田 久子 | 佐藤 紀子 | 湊 紀子 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 木村トヨ子 | 久積希実子 | 武田 陽子 | 伊丹 志織 | 井内 縁 |
| 森 裕美子 | 山本 真子 | 梶 真理子 | 前田 愛 | 矢本 妙子 |
| 田淵 美和 | 川崎 景子 | 久住 律子 | 山本 恵子 | 吉田美重子 |
| 板東 準子 | 古泉美代子 | 佐藤 一美 | 稲垣 幸 | 福永 麻里 |
| 楠本 倫子 | 都 品子 | 武市 恵美 | | |

(後 期)

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 藤野 陽子 | 姫野 君子 | 三浦由城子 | 高島美恵子 | 出口末喜子 |
| 竹中喜代子 | 中筋 良江 | 大倉 園美 | 山腰 知子 | 吉田 容子 |
| 西岡 咲子 | 山本 定子 | 小西 敬子 | 佐藤美智代 | 佐野チヨミ |
| 笹田 真里 | 豊原 淳子 | 山中 佳子 | 下村 清子 | 由利 里子 |
| 原田チエ子 | 吉本 道子 | 魚井イチエ | 山中 真紀 | 稲井 知子 |
| 中野 春江 | 佐藤 千紘 | 青山 秀香 | 井上 まり | 柏原 栄子 |
| 田中 早苗 | 富永 重行 | 井内 光子 | 益田 昌子 | 大西 啓子 |
| 宮崎 早苗 | 大島 幸子 | 川口 珠枝 | 山本 美幸 | 渡辺 正史 |
| 竹中 敏恵 | 赤川久美子 | 森 貴美子 | 佐川 公子 | 倉本 節子 |
| 繁崎登美子 | 宮本 敏夫 | 中野 幸子 | 中田 幸子 | 林 孝枝 |
| 湊 泰子 | 甲谷 慶子 | 近藤真千子 | 尾田 艶子 | 藤原 育代 |
| 西村 泰子 | 向井 幸子 | 町田 哲子 | 平野 幸子 | 東 円子 |
| 河野紀代子 | 湯浅 美香 | 鳥庭 貴子 | 山本 晶子 | 田村富士子 |
| 下泉 梨恵 | 古川 智野 | 森西美也子 | 崎野亜希子 | 辻 尚子 |
| 加村喜美子 | 山崎 秀美 | 井上小百合 | 加藤かつ子 | 藤本満里子 |
| 播磨 恭子 | 妹尾 敏子 | 篠原 純子 | 詫間 勝子 | 日下 弘美 |
| 濱 佐知子 | 向井美由希 | | | |

近代詩文の部

(前 期)

| | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 石田 久子 | 江原美津子 | 大石 正 | 大崎 辰雄 | 大西 英子 |
| 大西 英徳 | 岡川 泰江 | 小野 幸久 | 賀好 治美 | 加島 俊彦 |
| 川端喜美子 | 岸 緑 | 栗山 弘子 | 幸田 康代 | 児玉 幸子 |
| 桜田 貴子 | 沢村 清美 | 柴田 公代 | 島 栄子 | 清水 三枝 |
| 瀬戸内美代子 | 高瀬 善郎 | 武市三奈子 | 武田 淳子 | 谷口 昭子 |
| 谷本 清子 | 富永美知子 | 鳥井佐知子 | 長原 七与 | 沼田 裕司 |
| 野田 洋子 | 浜口 敏子 | 板東タマエ | 福谷 明美 | 福本 茂 |
| 藤井フサエ | 丸岡 良子 | 宮田 昭二 | 森本知世子 | 山口 信子 |
| 山崎ひとみ | 吉田佐知子 | 渡辺 亜希 | 和田富美子 | 遠藤玻都恵 |
| 長井 洋子 | 古川悠紀子 | 磯田 久子 | 小川 貴子 | 工藤 孝子 |
| 楠 恵利子 | 笹田 和美 | 桜間 好佳 | 田福 理子 | 野田 満代 |

矢野 照代 吉田志希子 米本 元枝 伊藤 秀子

(後期) 上原三千代 大井多鶴子 大久保利江 大島 清子 大西千鶴子
大野 秀子 小川佐江子 折田 浩子 笠井 鎮子 川下小夜子
川又 敏香 木田 史子 桑村 清 小坂ハナエ 坂尾 俊一
佐原 武子 篠原佳代子 柴田 美和 島田 利枝 新開ひとみ
高岡 清 竹井 澄子 竹川 秀穂 武樋 清子 谷口 陽子
東條香津代 豊村 啓輔 中島 和子 仁木志毛江 野田 富子
野本 寛之 春川 登 福田 和子 福永 培子 福山 啓子
藤本 優子 丸田 三恵 森岡 禎子 森本 陽子 柳川 具子
吉坂希実子 若林 節子 和田 悦代 朝三 和子 河内 育美
引地 美貴 青木寿恵子 大井 時子 木内エツ子 久米川信美
小西 和美 榊原早知子 崎山小夜子 長尾由美子 藤本 千秋
吉岡 詔子 吉積 恵子 田中 千恵

前衛の部

(前期) 井内寿満子 伊丹 明美 稲江 司子 梶川 佳奈 池田紀代子
松村 裕子 荒井 和子 田村 定雄 永濱 由美 真田 秋江
林 寛子 山本 晶子 仁木理恵子 三辻 真美 前川わかな
名西 博章 大坂 昌代

(後期) 田中 智章 西岡 珠子 柏尾美恵子 芝 憲彦 永井 厚子
村田 泰輝 佐藤 恵子 高松 輝子 阿部 公恵 伊藤 真美
大胡恵里香 井上 智美 野口 晶世 播広 恵美 中川 博雅
中川 富量 山西 博子

デザイン

〔審査員〕 U. G. サトー

〔特別出品〕 福井 章

〔招待〕 斎藤 繁次 坂野美恵子

〔賛助出品〕 坂本三千一

〔特選〕 敷島のり子 (県教育長賞)

小笠原重昭

〔準特選〕 沢口 功 吉成 敏史 的井 瑞枝

| | | | | | | |
|-------|--------|-------|---------|-------|----------|--|
| 〔奨励賞〕 | 溝渕 良枝 | 脊川 光恵 | 宮岡江理子 | | | |
| 〔入選〕 | 大東 浩司 | 北島 豊嗣 | 斉藤志津子 | 清水 寿美 | 岩佐美友紀 | |
| | 吉本 憲市 | 岡 加奈子 | 大野 綾子 | 檜 歌織 | 佐々 佳納 | |
| | 長尾 素文 | 片山淳之介 | 伊沢 次郎 | 鶴 真理 | 大西 和美(2) | |
| | 栗野 智志 | 沢口 功 | 福川 美和 | 阿部由美子 | 奥田 直子 | |
| | 楠本 恭代 | 芦尾 節子 | 斎藤 剛(2) | 福本 弥生 | 矢竹 望 | |
| | 波多野さおり | 橋本 優子 | 天野 美砂 | 木村 優子 | 小松いづみ | |
| | 吉成 敏史 | 加藤 真紀 | 清水 直子 | 敷島のり子 | 石田 武 | |
| | 脊川 光恵 | 西村 優子 | 林 悦子 | 吉岡 素子 | 四十宮隆志 | |
| | 今村 美季 | 小松 美香 | 水口 知己 | 泊 奈美 | | |

徳 島 県 美 術

| 部門 回数 | 日 本 画 | 洋 画 | 写 真 | 彫 塑 |
|----------|---------|---------------------|---------|-----------------------|
| 1 | 委 員 | 〔野 間 仁 根 家 永 騏三郎 | 委 員 | |
| 2 | 大 栗 旌 仟 | 野 間 仁 根 | 上 田 備 山 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫 |
| 3 | 委 員 | 伊 原 宇三郎 | 同 上 | 〔太 田 三 郎 坂 鹿 内 芳 洲 |
| 4 | 委 員 | 須 田 国太郎 | 同 上 | 同 上 |
| 5 | 上 村 松 篁 | 田 村 孝之介 | 小 野 由 行 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫 |
| 6 | 西 山 英 雄 | 伊 藤 継 郎 | 川 崎 亀太郎 | 同 上 |
| 7 | 山 口 華 楊 | 田 川 勤 次 | 棚 橋 紫 水 | 新 田 藤太郎 |
| 8 | 池 田 遙 村 | 須 田 剋 太 | 同 上 | 〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫 |
| 9 | 水 田 竹 圃 | 小 出 卓 二 | 同 上 | 同 上 |
| 10 | 管 楯 彦 | 〔鈴 木 信太郎 野 間 仁 根 | 同 上 | 同 上 |
| 11 | 奥 村 厚 一 | 井 上 長三郎 | 岩 宮 武 二 | 同 上 |
| 12 | 浜 田 観 | 福 沢 一 郎 | 棚 橋 紫 水 | 同 上 |
| 13 | 小 松 均 | 藤 井 令太郎 | 同 上 | 〔辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫 |
| 14 | 秋 野 不 矩 | 針 生 一 郎 | 岩 宮 武 二 | 針 生 一 郎 |
| 15 | 奥 村 厚 一 | 向 井 潤 吉 | 棚 橋 紫 水 | 管 沼 五 郎 |
| 16 | 同 上 | 吉 原 治 良 | 岩 宮 武 二 | 柳 原 義 達 |
| 17 | 松 尾 冬 青 | 中 谷 泰 | 同 上 | 向 井 良 吉 |
| 18 | 矢 野 鉄 山 | 池 島 勘治郎 | 同 上 | 安 田 周 三郎 |
| 19 | 中 村 貞 以 | 森 芳 雄 | 堀 内 初太郎 | 堀 内 正 和 |
| 20 | 曲 子 光 雄 | 桂 ュキ子 | 岩 宮 武 二 | 植 木 茂 |
| 21 | 沢 野 文 臣 | 伊 谷 賢 蔵 | 同 上 | 佐 藤 忠 良 |
| 22 | 堂 本 阿岐羅 | 村 井 正 誠 | 同 上 | 辻 晋 堂 |
| 23 | 松 岡 政 信 | 山 下 大五郎 | 岩 宮 武 二 | 井 上 武 吉 |
| 24 | 山 崎 忠 明 | 大 沢 昌 助 | 棚 橋 紫 水 | 菊 池 一 雄 |

展 審 査 員 一 覧

| 美術工芸 | 書 道 | デ ザ イ ン |
|-----------------|-----------------------------------|---------|
| 鬼塚信之 | 委 員 | |
| 同 上 | 田 中 白 村 | |
| 同 上 | 炭 山 南 木 | |
| 同 上 | 炭山南木・織田子青 | |
| 同 上 | 手 島 右 卿 | |
| 〔鬼塚信之 新田藤太郎〕 | 同 上 | |
| 鬼塚信之 | 小 坂 奇 石 | |
| 明石朴景 | 辻 本 史 邑 | |
| 会田裕宣 | 織田子青(漢)・出口草露(仮) | |
| 鴨 政 雄 | 松 井 恕 流 | |
| 近藤悠三 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | |
| 平松宏春 | 同 上 | |
| 同 上 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠 | |
| 大西忠夫 | 荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | |
| 明石朴景 | 同 上 | |
| 平松宏明 | 同 上 | |
| 大西忠夫 | 同 上 | |
| 鴨 政 雄 | 同 上 | |
| 平松宏春 | 同 上 | |
| 内田邦夫 | 同 上 | |
| 山脇洋二 | 同 上 | |
| 槻尾宗一 | 同 上 | |
| 山脇洋二 | 荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰 | |

| 部門 回数 | 日 本 画 | 洋 画 | 写 真 | 彫 刻 (46回まで彫塑) |
|----------|--------|--------|-----------------|------------------|
| 25 | 奥村厚一 | 齐藤真成 | 棚橋紫水 | 原 武 典 |
| 26 | 梶 喜 一 | 島村三七雄 | 同 上 | 掛井五郎 |
| 27 | 上原卓 | 高田誠 | 伊藤知己 | 松村外次郎 |
| 28 | 黒光茂樹 | 中間冊夫 | 岩宮武二 | 小島広志 |
| 29 | 松岡政信 | 島田章三 | 同 上 | 保田春彦 |
| 30 | 黒光茂樹 | 田中岑 | 同 上 | 篠崎明雄 |
| 31 | 河合健二 | 田中忠雄 | 同 上 | 江口 週 |
| 32 | 長谷川青澄 | 山口長男 | 〔岩宮武二 伊藤藤知己〕 | 一色邦彦 |
| 33 | 松岡政信 | 吉井忠 | 〔岩宮武二 秋山庄太郎〕 | 柳原義達 |
| 34 | 山岸純 | 小西保文 | 岩宮武二 | 清水九兵衛 |
| 35 | 樋笠数慶 | 荻太郎 | 同 上 | 桜井祐一 |
| 36 | 坂口麻沙子 | 吉井淳二 | 同 上 | 土谷 武 |
| 37 | 下田義寛 | 野見山暁治 | 同 上 | 山本正道 |
| 38 | 同 上 | 須田 寿 | 高田誠三 | 清水九兵衛 |
| 39 | 同 上 | 齐藤真一 | 同 上 | 城田孝一郎 |
| 40 | 下保昭 | 津高和一 | 〔岩宮武二 高田誠三〕 | 清水良治 |
| 41 | 橋田二郎 | 小松崎邦雄 | 奈良原一高 | 淀井敏夫 |
| 42 | 松本哲男 | 国領経郎 | 岩宮武二 | 木津一夫 |
| 43 | 山岸純 | 利根山光人 | 三木 淳 | 橋本 省 |
| 44 | 平川敏夫 | 赤穴 宏 | 高田誠三 | 山崎 猛 |
| 45 | 福井爽人 | 桜井 寛 | 三木 淳 | 土谷 武 |
| 46 | 岩沢重夫 | 大森朔衛 | 三木 淳 | 峯田敏郎 |
| 47 | 穂田一稗 | 谷本重義 | 立木義浩 | 小島 弘 |
| 48 | 田淵俊夫人 | 大沼映夫 | 杵島 隆 | 建島 覚造 |
| 49 | 中路融人 | 馬越陽子 | 杵島 隆 | 綿引道郎 |
| 50 | 下田義寛 | 三栖右嗣 | 奈良原一高 | 古島 実 |
| 51 | 工藤早人 | 中根 寛 | 齐藤康一 | 恩田静子 |
| 52 | 那波多目功一 | 松樹 路 人 | 細江英公 | 石井厚生 |

| 美術工芸 | 書道 | デザイン (37回まで商業美術) |
|-------|---|---------------------|
| 藤本能道 | 荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰 | |
| 三井安蘇夫 | 同上 | 金野弘 |
| 六角頼雄 | 同上 | 大智浩 |
| 鈴木貫爾 | 同上 | 早川良雄 |
| 田村耕一 | 同上 | 原弘 |
| 山脇洋二 | 同上 | 田中一光 |
| 浅野陽 | 同上 | 奥野英雄 |
| 前田泰次 | 同上 | 灘本唯人 |
| 山脇洋二 | 同上 | 大高猛 |
| 中村光哉 | 荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州 | 福田繁雄 |
| 山脇洋二 | 同上 | 永井一正 |
| 田村耕一 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰 | 山城隆一 |
| 同上 | 同上 | 栗津潔 |
| 山下恒雄 | 荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 | 田中一光 |
| 同上 | 同上 | 長友啓典 |
| 浅野陽 | 荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰 | 亀倉雄策 |
| 中村光哉 | 明石春浦・坪井正庵 | 伊蔵憲治 |
| 浅野陽 | 桜井琴風・黒野清宇 | サイトウ・マコト |
| 山下恒雄 | 大岡皓崖・山田伍雲・西野象山 | 佐藤晃一 |
| 三浦小平二 | 花田峰堂・小山素洞・東地滄厓 | 河北秀也 |
| 松永勲 | 浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩 | 松永真 |
| 山下恒雄 | 近藤撰南・東山一郎・中野北溟 | 浅葉克己 |
| 島田文雄 | 谷村憲齋・植村和堂・太田義久 | 藤井三雄 |
| 大西長利 | 安原皐雲・池田桂鳳・金子卓義 | 五十嵐威暢 |
| 山下恒雄 | 鈴木桐華・西本支星・金子聰松 | 青葉益輝 |
| 島田文雄 | 尾崎邑鷗・井茂圭洞・大井綿亭 | 松永真 |
| 中井貞次 | 栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟 | 安西水丸 |
| 栗木達介 | 浦田鷄川・小山やす子・石飛博光 | U. G. サトー |

第52回県美術展出品・入選等状況

| 部門 | | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 区分 | 出品数 | 72 | 265 | 1,216 | 44 | 161 | 1,333 | 143 | 3,234 |
| | 人数 | 63 | 197 | 244 | 39 | 115 | 820 | 116 | 1,594 |
| 入選 | 率 | 54.2% | 42.6% | 19.6% | 59.1% | 58.4% | 40.1% | 37.8% | 34.0% |
| | 特別賞 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | 特選 | 2 | 3 | 4 | 1 | 2 | 8 | 2 | 22 |
| | 準特選 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 13 | 3 | 37 |
| | 奨励賞 | 3 | 5 | 8 | 2 | 3 | 13 | 3 | 37 |
| | 入選 | 31 | 100 | 218 | 21 | 86 | 501 | 46 | 1,003 |
| | 計 | 39 | 113 | 238 | 26 | 94 | 535 | 54 | 1,099 |
| 落選 | 率 | 45.8% | 57.4% | 80.4% | 40.9% | 41.6% | 59.9% | 62.2% | 66.0% |
| | 落選 | 33 | 152 | 978 | 18 | 67 | 798 | 89 | 2,135 |
| 招待等 | 特別出品 | | 3 | | 1 | 1 | 5 | 1 | 11 |
| | 招待 | 5 | 9 | 20 | 6 | 9 | 40 | 3 | 92 |
| | 無鑑査 | | | 3 | 1 | | 2 | | 6 |
| | 賛助出品 | 4 | 12 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 21 |
| | 計 | 9 | 24 | 23 | 9 | 12 | 48 | 5 | 130 |
| 展示数 | | 48 | 137 | 261 | 35 | 106 | 583 | 59 | 1,229 |

◎特別賞は特選の内数である。

第6回 放美展記録

会 期 平成9年5月1日(木)～5日(月)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕 | 森 蔦苑 | | | | |
| 〔運営委員〕 | 高田 瑞雪 | 釣島 冬樹 | | | |
| 〔放美賞〕 | 藤村美津子 | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 米沢 稔 | 平野ひろみ | 三木みずほ | | |
| 〔入 選〕 | 川原 光恵 | 厚田 文子 | 板東 博美 | 岡沢 茂子 | 山本 泰子 |
| | 西村美也子 | 坂本 久江 | 白河 邦子 | 南 清子 | 吉田 満子 |
| | 斉藤 溪春 | 朝田 敏子 | 増田 由美 | 柳田イワエ | 中村 利明 |
| | 斎藤貴美子 | 市川 義幸 | 西口 光代 | 市川 義幸 | 岩野沙綾香 |
| | 井内カヨ子 | 四宮 恵美 | 柳川ハマエ | 木内 和美 | 高部 恒香 |
| | 武市 恭江 | 板東多恵子 | 三木 義博 | 黒田 實 | 橋本 隆雄 |
| | 田村 保子 | 永井 貞枝 | 濱口 芳春 | 吉坂美智子 | 久保脇祥雲 |
| | 糸田川佳子 | 森本 千秋 | 柳田 一子 | 秦 照子 | |

洋 画

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 〔審査員〕 | 高橋 敬 | 黒崎 志郎 | 後藤田仁一 | | |
| 〔美協会長〕 | 佐野比呂志 | | | | |
| 〔運営委員〕 | 永山 隆二 | 川原 康孝 | | | |
| 〔美協顧問〕 | 長井 公雄 | | | | |
| 〔無鑑査〕 | 玉田 秀子 | 南城ミツ子 | 島川 君子 | | |
| 〔放美賞〕 | 河本多恵子 | | | | |
| 〔優秀賞〕 | 桐島 豊子 | 三谷ミヤ子 | 元廣 俊子 | 佐々木 超 | 関 京子 |
| 〔入 選〕 | 山田ゆかり | 岡田 光男 | | | |
| | 福良 哲子 | 伊勢 浩章 | 正木 房子 | 木下 博子 | 佐藤 敬子 |
| | 佐藤 友美 | 真野 孝彦 | 長田 武夫 | 河田 純 | 浅山 久子 |
| | 浅井 香織 | 小川けいこ | 住友富美子 | 片山 富市 | 青木 幸子 |
| | 西條 明彦 | 答島 和年 | 浜田 益子 | 関 政明 | 山田 越子 |
| | 宇高 桂子 | 村田 恭一 | 松浦 節子 | 中川登志子 | 岩谷 明 |
| | 安部 元彰 | 近藤 克子 | 姫野 和久 | 藤井 香世 | 辻野 正廣 |
| | 居村 哲也 | 吉永 房子 | 阿部 昌子 | 北 美智子 | 福富 正二 |
| | 木下 和江 | 田中 康子 | 宮井 一三 | 浜條賀世子 | 天満 洋子 |
| | 佐藤 昭子 | 乾 繁春 | 湯岑エミ子 | 大栗 洋子 | 山田 智千 |
| | 二條 均 | 佐藤 久美 | 生川 佳代 | 大西 文代 | 岩佐 京子 |
| | 為実美恵子 | 島田 英子 | 坂東佳代子 | 田野 安子 | 松尾 泰子 |
| | 曾我部秀子 | 大西 道夫 | 片岡 光子 | 岡田 彩子 | 鎌田恵理子 |

柳本 哲二 谷口 節 岸本 花子 島田美奈子 後藤ユリ子
 藤丸 家栄 武田 洋子 中本真由美

写 真

- 〔審査員〕 西條 征二 櫛淵 魏 荒井 賢治
 〔運営委員〕 酒井 博司 安長 剛
 〔美協理事〕 井上 光雄
 〔放美賞〕 大栗 隆夫
 〔優秀賞〕 菅本 享 宮野 菁伍 向 儀一郎 清水 宗保 小林 保子
 柳本 正 阿部 美昭 多川 静守 原井 裕夫 東丸 定子
 粟田ふさえ 大和 健司 坂東 裕子 中川 定典 森内 昭男
 瀬尾美智代
- 〔入 選〕 吉本 悦子 佐藤 哲夫(2) 木村 憲通 野藤みきよ(2) 野藤 敏美(3)
 原田 宏(2) 山本 玉見 三好 友明 柳本 清一 谷 賢太郎(2)
 佐治 孝(2) 佐藤 考利 佐藤 義雄(2) 平賀俊次郎 村上 利明(2)
 一宮 泰彦 吉川 和雄(2) 高木 伸幸 中河美智子 藤田 卓嗣(2)
 仁木 勝美 溝淵 寛治 岸上 俊博 須見 博文 福田 源吉
 村上 弘 杉本 福 梶村 鉄次 宮本 好美 前坂 祥文
 大津 勝治(2) 林 晴之 杉本 正利 安部 幸子(2) 横山 勤一
 井藤 光章 林 達也(2) 播 博文 折野 理悦 板東 泰雄
 板東 敏春 宮野 菁伍(2) 姫田 仁美 大野 武(3) 大野 泰子
 土橋 成行 仁尾三根夫 井上 雅雄(2) 宮本 幸治(2) 堀口 幸男(2)
 中村 絹子 清水 宗保 森川ミサ子(2) 塩本 勝義 志摩 育美
 阿部 一雄 氏師 敏晴 吉村 敏嗣(2) 小林 保子 大栗 隆夫
 田中 伸廣(2) 小山 秀夫 柳本 正 阿部 美昭 中村 茂人
 佐古 吉男 多川 静守 河村 治 原井 裕夫(2) 森山 利明
 梅久 匠 岡本 清憲(3) 中島 真人(2) 粟田ふさえ 三谷 敏行(2)
 河田 清(2) 一宮 由子 森住 博(2) 松田みゆき 笹田 敏雄(2)
 浅川 理(2) 田中 義孝 潮 満寿子(2) 大和 健司 正満 恭子
 坂東 裕子(2) 坂東 進 牧本 正 井上 憲治(2) 中川 定典
 宮崎 行弘(2) 田処 正明 高柳 孝治 守原 修 久留米敏仁
 上杉 大一(2) 川真田慶治(2) 稲井 芳男 菅蔵 数久(2) 鮎川日出一(3)
 内田 和子 櫛谷 文治 北条 孟 小林 利美 小林 芳子(2)
 徳永 逸夫 瀬尾美智代 川端 武夫 脇川 義広 細川シゲ子
 新居真一郎 赤木 昭子(2) 今出 弘 福原 敏雄 藤本 宗子(2)
 岩切 昌胤 後藤 和美(2) 大西 啓子(2) 板東 律雄 中山 良男
 木村美紗子(3) 伊達 照子(2)

彫 刻

〔審査員〕 鎌田 邦宏 濱口 恵 佐藤 隆
 〔美協副会長〕 河崎 良行
 〔運営委員〕 松永 勉
 〔無鑑査〕 蒔田 寿
 〔放美賞〕 玉田 悦子
 〔優秀賞〕 田中 宏枝 中川 伸一
 〔入選〕 池田 有紗 坂本三千一 斎藤 康男 小川 雅代 中村 雅代(2)
 笠井 瑠美 西島 登 笹岡 澄子 笠井 正彦 中田 敏之
 中込 潤 原田 綾 岡崎 陽子 野口 智加 西岡 勝成
 神崎 奈美 山田 礼美 妙玄 梨絵 小川けいこ 上田 寿子
 金国 玲奈 井利美寿穂 東 光司 四宮 達司 川真田武夫
 椋本 幸男

美術工芸

〔審査員〕 橘 恵 松下 慶一
 〔美協理事〕 森 昌男
 〔無鑑査〕 森 明治
 〔放美賞〕 隅田 良佑
 〔優秀賞〕 鳥井 明子 四十宮年代 三原 春美 斎藤 和彦 矢野 雄也
 〔入選〕 平野仁太郎 湯浅カツエ 武田 美子 桑原 勢 杉原 素子
 加藤 伴江 鶴山 早苗 北島 洋史 木内紀久乃 山本 義子
 大島リッコ 橋本 一成 野田 理人 綱木 麻雄 井村アイ子
 鈴江 美鈴 山田 実 奥尾 政子 陶久 敏郎 篠原 光彦
 樫原 道雄 樫原フサコ 松山 豊 桜井 慎治 森 克江
 一條 宏明 坂野 敏子 矢野順三郎 川崎 智子 住友 和子
 渡辺智恵子 村上 由香 青野 裕美 川真田泰裕 吉田 敏明
 山野 英子 山中 孝子 山本 隆久 田村 恵子 本田美智子
 山本 隆久 吉田 晃子 野田 宏 黒田 雄生 新見 清香
 栗屋 智志 高原真理子 寒川 治雄 福岡ムメコ 楠 正陶
 野 山人 榊原 恭子 村上由希子 金沢 美穂 南 操
 林谷 瑞穂 柿内 詩子 矢野 裕福 小橋美知子 太田 裕子
 西江 正夫

書 道

〔審査員〕 春藤 大耿 讃岐 泰泉 久保 幽香
 〔美協副会長〕 荒井 天鶴
 〔運営委員〕 新居 藍州 田村 昇鶴 玉城 乾香

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| [美協理事] | 上田 溪水 | 田中栢翠 | | | | |
| [無鑑査] | 中尾 勝子 | 近藤 静苑 | | | | |
| [放美賞] | 川村 春琴 | | | | | |
| [優秀賞] | 州崎 忠雄 | 渡辺 草石 | 春川 登 | 小西 玉翠 | 横田 素林 | |
| | 高橋 宗見 | 宇津 清子 | | | | |
| [入選] | 田井 晴風 | 高田由里子 | 大塚 唯土 | 新居 鉄郎 | 大島 明美 | |
| | 市原 典子 | 藤永 真里 | 原田 尚鳳 | 上原三千代 | 大久保利江 | |
| | 大西千鶴子 | 大西 英子 | 小野 幸久 | 武田 淳子 | 谷口 香葩 | |
| | 山口 信子 | 渡辺 亜希 | 船崎 友子 | 石井 瞳 | 片山 保 | |
| | 藤田 祐美 | 寒田千賀子 | 片山三智子 | 徳長 裕二 | 武知 裕治 | |
| | 貝川 布美 | 吉田 和子 | 山根 洋子 | 川下小夜子 | 加藤香都子 | |
| | 古川悠紀子 | 阪口 光子 | 新開比登美 | 坂尾 俊一 | 吉坂希実子 | |
| | 川端喜美子 | 高橋 希実 | 矢間 輝実 | 合田知恵子 | 立花 富次 | |
| | 森 孝司 | 橋本 京子 | 坂野 節子 | 高田 博 | 細川 武治 | |
| | 伊勢 民子 | 橋本麻衣子 | 福井 登美 | 中西 淑子 | 林 米子 | |
| | 清重 国子 | 妹尾 敏子 | 高木 房一 | 西野 四郎 | 中村 絢子 | |
| | 部 品子 | 横田 典子 | 荒川 佳子 | 増川 好美 | 荒瀬 有紀 | |
| | 松浦 翠篁 | 西村 泰紀 | 谷口 君子 | 東條 里映 | 野口 有香 | |
| | 岩崎紀美子 | 野口 静江 | 徳永 逸夫 | 乾 久恵 | 西村 泰子 | |
| | 三浦由城子 | 湊 紀子 | 中谷つや子 | 町田 哲子 | 藤野 陽子 | |
| | 株本マサノ | 坂野 雅子 | 米田 重子 | 出口末喜子 | 近藤マサエ | |
| | 坂東 光子 | 佐野チヨミ | 川人 皓 | 槇田満里子 | 高島美恵子 | |
| | 佐藤 松子 | 佐藤美智代 | 上田 久子 | 笹田 真里 | 高橋 宗見 | |
| | 平野 幸子 | 姫野 君子 | 向井 幸子 | 小西 敬子 | 武市 勝恵 | |
| | 井川 敏子 | 井内 愛 | 藤本満里子 | | | |

デザイン

| | | | | | |
|--------|--------|-------|----------|-------|----------|
| [審査員] | 坂野美恵子 | 斎藤 繁次 | 福井 章 | | |
| [運営委員] | 田中 一郎 | 坂本三千一 | | | |
| [無鑑査] | 川崎 孝志 | | | | |
| [放美賞] | 敷島のり子 | | | | |
| [優秀賞] | 福川 美和 | 北島 豊嗣 | 的井 瑞枝 | 宮岡江理子 | |
| [入選] | 吉井 克子 | 佐藤亜希子 | 天野 美砂(2) | 山下真由美 | 岸野 真紀 |
| | 篠原由美子 | 勝浦美由起 | 阿部由美子 | 一宮 伸匡 | 石田 武 |
| | 福本五十鈴 | 林 悦子 | 佐田久笑理 | 林 修司 | 日浦 央湖 |
| | 大東 浩司 | 増谷 永 | 福本 弥生 | 城福 美保 | 安岡 香織 |
| | 波多野さおり | 河内 麻里 | 森 めぐみ | 矢竹 望 | 幸田 晴美 |
| | 元木公美子 | 小泉まい子 | 吉岡 素子 | 水口 知己 | 岩佐美友紀(2) |
| | 佐々 佳納 | 中西 涼子 | 加藤 真紀 | 栗城真理子 | 西崎八千代 |

各部記録

日 本 画 部

部 会 長 中 川 健

年間展望

◎第6回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

4回展43点、5回展54点。今回展65点と年を重ねるごとに応募点数がふえて、春の美術展として定着してきた。50号までの大きさと制限していることが出品しやすく、おもいきった仕事をしやすくしているという好結果を生んでいるかもしれません。このままより発展していってもらいたいと思っています。

放美賞：「待つ」 藤村美津子
優秀賞：「山門」 米沢 稔
「赳（キュウ）」 平野ひろみ
「雨後」 三木みずほ

◎第52回新作日本画展（7月11日～13日 県郷土文化会館）

県内にて日本画を愛好し制作活動をしている人々のアンデパンダンの作品発表の場としての位置付けをしているということからは大変興味ある展覧会とは思っているが、応募作品数が頭打ちの状態にあり、その意味をもう一度検討する時でもある。ただし、応募作品は情熱にあふれた素晴らしい作品が数多く見られ、今後どのように発展させていくかを真剣に考えさせてくれ、運営した者にとって勇気を与えてくれた今回の新作展であった。

新作大賞 吉田満子・柳川ハマエ
新 作 賞 原田喜佐子・高部谿仙・米沢 稔・久保脇祥雲
佳 作 松浦多壽子・三木秀溪・増田由美・木内和美

◎第52回県美術展（第1期 11月8日～16日 県郷土文化会館）

審査の公平を柱として、各会派より回転制をとり審査を依頼しているが、今回は院展同人の那波多目功一先生に審査員をお願いした。「全体に絵になるモチーフを探して絵にしているという印象を受けた。絵になる要素が八割程度の題材を探し、あとの二割程度は自分の感性で仕上げようという意欲がほしい。そこに着想の妙が生まれる。自分の想いを一人よがりにならず、それでいて精一杯の表現することが絵には大事なことである。」との総評であった。

応募点数72点、入賞8点、入選31点と前回展とほぼ同じような規模の展覧会となった。

| | |
|----------------|-------|
| 特選(鶴崎賞)：「月明かり」 | 反田 卓 |
| 特 選：「廃墟のミシン工場」 | 板東博美 |
| 準特選：「溪流」 | 斎藤春子 |
| “：「白樺の譜」 | 江本美千代 |
| “：「廻」 | 坂 容子 |
| 奨励賞：「蓮」 | 四宮恵美 |
| “：「空き地」 | 藤村美津子 |
| “：「夜」 | 日浦猛史 |

会員消息

11月に立江寺が開創1250年記念として襖絵を公開した。同寺が3年前に信徒会館の改築に着手した際、「癒（い）やしの島お四国の霊場としてふさわしく、心の安らぎを得られる空間をつくりたい」と、日本画家や書道家の僧ら5人に制作を依頼し完成した襖絵である。長尾弘子氏がその一人として、3年がかりで制作した襖絵も同時に公開され、好評を得ていた。

以下、月別に活動状況を紹介する。

| | | | |
|-----|---------------------------------------|-----------------------------|--|
| 1月 | 日洋合同新春展 鳴門市展（日本画部） | 鳴門四電ギャラリー 鳴門市民会館 | 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪 |
| 3月 | 第37回日本南画院展 | 東京 京都 大阪美術館 | 長谷 壽・濱口芳春・村上凌雪 森 蔦苑 |
| 4月 | 第32回日本墨彩画院展 | 香川文化会館 | 長谷 壽（秀作）・高田瑞雪 森 蔦苑 |
| 5月 | 鳴門市文化展 “ 阿南市美術展 “ 第6回放美展 | 鳴門市民会館 阿南市民会館 県郷土文化会館 | 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪 篠原三叢・長谷 壽・森 蔦苑 (詳細は前頁で掲載済) |
| 7月 | 第52回新作日本画展 “ フランスにおいて日本画ワークショップを開催 | 県郷土文化会館 | (詳細は前頁で掲載済) 岡 英彦 |
| 8月 | 私のスケッチ淡彩画展 | ドクターエンド-徳島かちどき橋 | 吉崎 進 |
| 9月 | 日本画 墨絵クラブ合同展 | 鳴門四電ギャラリー | 高田瑞雪 |
| 10月 | 第55回有秋会展 “ 第31回珀雲社日本画展 | 大阪市立美術館 県郷土文化会館 | 森 蔦苑（無鑑査）・長谷 壽 濱口芳春 白河邦子・長谷 壽・濱口芳春 南 清子・村上凌雪・森 蔦苑 |

| | | | |
|-----|--------------------------|---------|----------------|
| 〃 | 鳴門市展 | 鳴門市民会館 | 高田瑞雪・釣島冬樹・村上凌雪 |
| 〃 | 第29回日展 | 東京都美術館 | 岡 英彦 |
| 11月 | 立江寺障壁画展 | 立江寺 | 長尾弘子 |
| 〃 | 第52回県美術展 | 県郷土文化会館 | (詳細は前頁で掲載済) |
| 12月 | 第26回歳末チャリティー 作品・色紙即売展 | 徳島そごう8階 | 岡 英彦 |

洋 画 部

部 会 長 永 山 隆 二

年間展望

◎第52回県美術展（第1期：11月8日～16日 県郷土文化会館）

審査員には独立美術協会の松樹路人先生にお願いした。審査評を要約して紹介します。特選（徳島新聞社長賞）の越久高照氏「工場」は構図がよく、色彩や濃淡のトーンがしっかりしていて、工場の雰囲気がよく出ている。特選の島川君子氏の「人形師の部屋」は、徳島でしか描けない絵で、郷土色が薄れる中で“木偶（でこ）”という伝統工芸に題材を求めており、地方の特色や伝統を大事にしたいという作者の訴えが感じられる。特選の南城ミツ子氏の「阿波踊り」は、細部にこだわらない大胆な筆の走りで踊り子の動きを導きだしており躍動感が感じられる。

◎第6回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

応募点数が175点で入選が76点で、壁面の関係もあり入選率は43.4%となった。7部門の中では最もきびしい結果となった。受賞者は次のとおりであった。

放美賞 河本多恵子「坂の家」

優秀賞 桐島豊子「早春」

三谷ミヤ子「街かど」

元廣俊子「惜別」

佐々木 超「わかめの取り入れA」

関 京子「静物 1」

山田ゆかり「梶山」

岡田光男「出羽島漁港」

◎第12回洋画部会員展（5月29日～6月1日 県郷土文化会館）

特別陳列には、大西利津子、福良哲子、島上二郎の三名が各4点ずつ出品されて、全体の合計が87点となった。ただ残念なことは、昨年より出品点数が少なくなったことであった。会員の方々が自分たちの展覧会であるという認識をもたれて、進んで出品されますよう希望しておきます。

会員消息

（県展・放美展は除く）△住所変更 ◎新会員 掲載は郡市ごとの五十音順

○青木 幸子 八紅展（シビックセンター）。

◎浅山 久子 八紅展（シビックセンター）。

○天野 節 青美展、徳島市文化展、洋画部会員展（郷文）、文化女子大図書館へ「慣用色各総覧」を提供。

- 伊勢 浩章 洋画部会員展、平和美術展（郷文）、月曜会展（ギャラリー喫茶グレイス）、むつ美グループ水彩画展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 乾 繁春 関西美術文化展（大阪市立美術館）、洋画部会員展、美術文化四国支部展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、世代美術展（シビックセンター）、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）、美術文化協会準会員になる。
- 大西利津子 八紅展（シビックセンター）、洋画部会員展（郷文）。
- 岡 多美子 新象展（東京都美術館）、県女流美術家協会展、中央展出品絵画展（郷文）、GRAND PRIX ARTISTIQUE DES CITOYENS FRANCAIS（パリ）。
- 岡田 君代 平和美術展、洋画部会員展、16人展、青美展（郷文）。
- 岡田 守 徳島市文化展：招待出品、洋画部会員展（郷文）、全美展、世代美術展（シビックセンター）。
- 尾形 正二 美術文化展（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、平和美術展、洋画部会員展、中央展出品絵画展（郷文）。
- 賀木 道子 第63回旺玄展：会員出品（東京都立美術館）、旺玄会大阪巡回展（大阪市立美術館）、旺玄会徳島支部展（眉峰ギャラリー）、洋画部会員展（郷文）。
- 河野 英昭 しらさぎ台文化祭絵画展：常設展示（しらさぎ台活動センター）。
- 河田 安市 白日会：会員出品、第5回白叡会展出品、第29回日展入選。洋画部会員展、絵で見る徳島展、高校文化祭（郷文）。
- 岸本 花子 洋画部会員展、徳島市文化展（郷文）、八紅展（シビックセンター）、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 木谷 弘 世代美術展（シビックセンター）、キッスング17人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 騎馬 政美 洋画部会員展、青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 桐島 豊子 八紅展（シビックセンター）、徳島市文化展：無鑑査出品（郷文）。
- 楠瀬 等 海外取材旅行。
- 黒崎 志郎 示現会展：会員出品、第29回日展（東京都立美術館）、示現会巡回徳島展、洋画部会員展（郷文）、示現会徳島支部展（シビックセンター）。
- 後藤ユリ子 洋画部会員展、県女流美術家協会展、青美展、中央展出品絵画展（郷文）、県秀作巡回美術展（県下6市町村）。
- 後藤田仁一 美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）、徳島市文化展：招待出品、洋画部会員展、世代美術展、美術文化四国支部展（郷文）、退教協作品展（ヨンデンプラザ徳島）、放美展審査員。
- 斎藤 靖子 日本板画院展：同人（東京都立美術館）、徳島市文化展：招待出品（郷文）、国際平和美術展（国連本部ジュネーブ）、木版画展（勝浦町立・那賀川町

立図書館)、麻布美術館評議員展(麻布美術館)、徳島女流美術家協会展、絵で見る徳島展、中央展出品絵画展(郷文)、ウィーンジャパンフェスティバル展(ウィーン)、アートアカデミージャパン97(東京国際フォーラム)、97アートネットヨーロッパ巡回展(オーストラリア・ベルギー・イギリス)、阪神淡路震災二周年復興応援展(尼崎市)

- 嵯峨 潤三 ザ・ニンノミヤ(アトリエ西宮)、ART' 81展(大阪現美センター)、逆光展、洋画部会員展(郷文)、第21回ART' 81展(神戸まちづくり会館)、西宮美術協会展、ART' 81小品展(アトリエ西宮)、すどり洋画会展(西宮市民ギャラリー)。
- 佐々木 超 洋画部会員展(郷文)、八紅展(シビックセンター)、八万町文化祭(八万町コミュニティセンター)。
- 佐野比呂志 関西独立展:無鑑査(大阪市立美術館)、全展:委員出品(東京都立美術館)、全展フォーカス展(上野の森美術館)、世代美術展、全美展(シビックセンター)、徳島市文化展審査員。
- 四宮 久子 二紀展、神戸二紀女流展、夢のきざはし展、アトリエばく展。
- 清水 亟愼 コレ選展(東京銀座)、個展(そごう)、モダンアート協会展:会員出品(東京都立美術館)、洋画部会員展、M&M作品展、あすなろグループ展。
- 下内 裕次 モダンアート協会展(東京都立美術館)、モダンアート明日への展望(横浜市民ギャラリー)、関西モダンアート展(大阪府立美術センター)、第30回記念モダンアート徳島支部展(県立近代美術館)、徳島市文化展:徳島新聞社賞、中央展出品絵画展、洋画部会員展(郷文)、モダンアート徳島支部展(阿波銀プラザ)。
- 高橋 敬 第27回県教職員美術展:招待出品、徳島市文化展:審査員出品、洋画部会員展(郷文)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)、創造美術展出品(大阪天王寺美術館)、選抜阿波踊り展(恰美術館)。
- 谷 節子 第63回旺玄展(東京都立美術館)、洋画部会員展、中央展出品絵画展、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと(郷文)、旺美展:中央旺玄出品者展(阿波銀プラザ)。
- 玉田 秀子 徳島市文化展:無鑑査出品(郷文)、八紅展(シビックセンター)。
- 辻野 正廣 中央絵画クラブ展(シビックセンター)。
- 露口 敏幸 第27回県教職員美術展(郷文)。
- 中村 晴代 全美展(シビックセンター)。
- 中山 清一 洋画部会員展、徳島市文化展(郷文)。
- 長野 満子 二科展、旺玄展:会友出品(東京都立美術館)、洋画部会員展、中央展出

品絵画展、ふるさとを描き遺す会展、絵で見る徳島展（郷文）、選抜阿波踊り展（恰美術館）、三美展（シビックセンター）、旺美展：中央旺玄出品者展（阿波銀プラザ）、個展（喫茶グレイス）、秀作巡回美術展（県下6市町村）。

- 永山 隆二 第27回県教職員美術展：招待出品、徳島市文化展：審査員出品、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（シビックセンター）。
- 南城ミツ子 第29回日展入選、東光展：会友出品、洋画部会員展、第27回県教職員美術展：委嘱出品、徳島市文化展：無監査出品、東光会徳島支部展。
- 西川 敬子 洋画部会員展、平和美術展（郷文）、第26回仙台・徳島文化交流美術展、第83回徳島女流美術家協会展。
- ◎浜田 益子 八紅展（シビックセンター）、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 平尾マサミ 文化の森レストランへ常設展示、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）。
- 藤川 明子 中央絵画クラブ展、全美展（シビックセンター）、徳島市文化展：招待出品（郷文）、全美会池田展（ヨンデンプラザ池田）。
- 梶田 務 東光展支部展、洋画部会員展（郷文）、梶田務墨彩画展（四国大学記念館）。
- △松浦 節子 旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、中央展出品絵画展、洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展（郷文）。
- 三谷ミヤ子 洋画部会員展、徳島市文化展：無鑑査出品（郷文）、八紅展（シビックセンター）、阿波踊り選抜展（恰美術館）、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 峯 幸子 洋画部会員展、県女流美術家協会展（郷文）、む・アート展（県立近代美術館）。
- 宮井 一三 中央絵画クラブ展（シビックセンター）。
- △元廣 俊子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（シビックセンター）。
- 山口 和子 中央絵画クラブ展、全美展（シビックセンター）、徳島市文化展：招待出品（郷文）。
- ◎山田 越子 八紅展（シビックセンター）。
- 吉田収二郎 旺玄会展：会友出品、中央展出品絵画展、ふるさとを描き遺す会展（郷文）。
- 吉永 房子 第27回県教職員美術展：委嘱出品（郷文）。
- △大西 文代 中央絵画クラブ展（シビックセンター）。
- 岡田 克美 新春展（ヨンデンプラザ鳴門）、鳴門市展（鳴門市民会館）。
- 尾崎 素子 東光会：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展、洋画部会員展

(郷文)。

- 鈴木 明雄 青美展、洋画部会員展(郷文)、土曜展(安田火災)、新春展(ヨンデンプラザ鳴門)、鳴門市展(鳴門市民会館)。
- 田淵 浜子 旺玄会展:会員出品(東京都立美術館)、旺美展:中央旺玄出品者展(阿波銀プラザ)。
- 原田チエ子 東光会:入選(東京都立美術館)、白鳳グループ展(鳴門市立図書館)、青美展、ふるさとを描き遺す会展(郷文)。
- 北 美智子 徳島市文化展:奨励賞、洋画部会員展(郷文)、八紅展(シビックセンター)。
- 佐藤 敬子 洋画部会員展、青美展(郷文)。
- 関 政明 絵のまち尾道四季展:秀作(尾道市美術館)、エナジー97展:特別賞(県立近代美術館)、那賀川美術の会展(シビックセンター)、小松島市展:春秋(小松島中央会館)、自由工房展(小松島郵便局ほか)、個展(小松島警察署ほか)。
- 福本 武子 東光会展(東京都立美術館)、東光会徳島支部展、中央展出品絵画展(郷文)。
- 福良 哲子 徳島市文化展:市長賞、洋画部会員展:特別陳列(郷文)、八紅展(シビックセンター)、加茂谷文化祭(加茂谷公民館)。
- 井沢 忠昭 阿南市展(阿南市民会館)、全理連美術展(東京)。
- 大宮 和雄 青美展、洋画部会員展(郷文)、土曜展(安田火災)。
- 笹田 興一 美術文化展:会友出品(東京都立美術館)、洋画部会員展、中央展出品絵画展、美術文化四国支部展(郷文)、関西美術文化展(大阪市立美術館)。
- 中辻奈美枝 二紀展(東京都立美術館)、徳島二紀展(県立近代美術館)、徳島二紀小品展、洋画部会員展(郷文)。
- 島村 英之 示現会展(東京都立美術館)。
- 住友 義彦 洋画部会員展(郷文)。羽ノ浦町民文化祭美術展(羽ノ浦町)。
- 立岩 巖 第35回全日本美術協会展(東京都立美術館)、第23回全展フォーカス作家選抜展(上野の森美術館)、第11回前年度各展受賞者選展(銀座松坂屋)、第27回県教職員美術展:招待、洋画部会員展、第29回石井美術の会作品展(郷文)、全美展、世代美術展(シビックセンター)、15人展(ヨンデンプラザ徳島)。
- 谷 佳子 洋画部会員展(郷文)、昭和美術展:週間テレビ京都賞、センス展(ヨンデンプラザ徳島)、昭和美術四国支部展(阿波銀プラザ)。
- 前野 亮治 三美展(シビックセンター)。
- 松川 寛 モダンアート展(東京都立美術館)、モダンアート京都展(京都市立美術

館)、関西モダンアート展(大阪府立現代美術センター)、燎4人展、洋画部会員展、平和美術展、石井美術の会作品展(郷文)、モダンアート徳島支部展(阿波銀プラザ)、アトリエM展(県立近代美術館)。

- 水間 利生 美術文化展:会員出品(東京都立美術館)、美術文化関西展(大阪市立美術館)、中央展出品絵画展、美術文化四国支部展、洋画部会員展、石井美術の会作品展(郷文)、世代美術展(シビックセンター)。
- 宮本 幸江 東光会展:会友出品(東京都立美術館)、洋画部会員展、中央展出品絵画展、県女流美術家協会仙台・徳島文化交流展、東光会徳島支部展、石井美術の会作品展(郷文)。
- 毛利 谷子 東光会展:会友出品(東京都立美術館)、東光会徳島支部展、洋画部会員展、中央展出品絵画展、県女流美術家協会仙台・徳島文化交流展、石井美術の会作品展(郷文)。
- 大塚 政孜 洋画部会員展(郷文)、市場町文化祭(市場町民ふれあいセンター)。
- 越久 高照 洋画部会員展、青美展(郷文)、藍美展(藍住町福祉センター)。
- 久米 正明 洋画部会員展(郷文)、北島町ふるさとを描き残す会展(北島町立図書館)。
- 二條 均 洋画部会員展、平和美術展、青美展(郷文)、板野美術クラブ展(ヨングラザ徳島)。
- 浜尾みっこ 洋画部会員展(郷文)、北島町ふるさとを描き残す会展(北島町立図書館)。
- 板東 俊一 藍美展:顧問出品(藍住町福祉センター)。
- 堀切 蔦子 全美展、中央絵画クラブ展(シビックセンター)、藍美展(藍住町福祉センター)。
- 三沢 尚子 関西水彩画展(大阪市立美術館)、燎4人展、県女流美術家協会展・仙台・徳島文化交流美術展、洋画部会員展(郷文)、ペアーレ水彩画展(ヨングラザ徳島)、関西水彩画会委員に推挙される。
- 三好 初子 東光会展:会員出品、第29回日展(東京都立美術館)、徳島市文化展:無鑑査出品、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品絵画展、県女流美術家協会展・仙台・徳島文化交流美術展(郷文)、藍美展(藍住町福祉センター)。
- △岡田 光男 平和美術展、洋画部会員展、青美展、鴨島美術グループ展、四季彩会展、示現会展。
- 岡本 征二 洋画部会員展(郷文)、土曜展(安田火災)。
- 木村 健 第三文明展(東京都立美術館)、第12回国民文化祭かがわ97美術展(高松市美術館)
- 島上 二郎 東光会展(東京都立美術館)、洋画部会員展(郷文)。

- △下時治郎秀臣 白日会：会員出品 特別賞M賞（東京都立美術館）、白日巡回展（名古屋、九州、岡山、大阪）、白叡会展（東京セントラル絵画館）、白日会選抜展（近鉄アベノ、岡山天満屋）、麻の会（徳島そごう）、洋画秀作展（徳島、香川、松山他）、かけがえのない現象展（日本橋 三越）。
- 志摩 政照 鴨島美術グループ展（郷文）。
- 真野 孝彦 青美展、鴨島美術グループ展（郷文）、二紀徳島展（県立近代美術館）。
- 湯岑エミ子 鴨島美術グループ展（郷文）。
- 浅田 二郎 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品絵画展、青美展（郷文）。
- △小笠 正明 第63回旺玄展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品絵画展、第24回旺玄会徳島支部展（郷文）。
- 佐藤 昭子 八紅展（シビックセンター）。
- 島川 君子 第29回日展、東光会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品絵画展（郷文）、脇町美術展（脇小学校）。
- △関 京子 八紅展（シビックセンター）、洋画部会員展（郷文）、八万町文化祭（八万町コミュニティセンター）。
- 曾我部秀子 八紅展（シビックセンター）。
- 田所 米子 洋画部会員展、平和美術展（郷文）、草美展（東京浅草）。
- 藤本 晴子 二科会展（東京都立美術館）、洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭（脇町中学校）。
- 真鍋 弘子 青美展（郷文）。
- 三谷多美子 二科展（東京都立美術館）、中央展出品絵画展、洋画部会員展（郷文）、試行展（ヨンデンプラザ徳島）。
- 川原 康孝 洋画部会員展、第27回県教職員美術展（郷文）、世代美術展（シビックセンター）、結成記念：グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会三好文化展、三好郡文協連交流美術展（三加茂町）。
- 川原 真琴 洋画部会員展（郷文）、土曜画会三好文化展、三好郡文協連交流美術展（三加茂町）。
- ◎木下 和江 グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会三好文化展（三加茂町）。
- 西條 明彦 さかいでアートグランプリ97（坂出市民美術館）、香川県展、香川県勤労者美術展：佳作（香川県文化会館）、第12回国民文化祭かがわ97美術展：佳作（高松市美術館）。
- ◎田野 安子 グループ翔展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会三好文化展（三加茂町）。
- 藤埜 理 創元展（東京都立美術館）、洋画部会員展（郷文）。

- 山口美千代 洋画部会員展、青美展（郷文）。
- 山下 浩平 美術文化展（東京都立美術館）、関西美術文化展（大阪市立美術館）。
- 長井 公雄 大阪府美術家協会巡回展、大阪府美術家協会秋季展、八尾美術協会展。河内100人展（西武百貨店）、個展（阿波銀プラザ）。アートギャラリーシェスタ倶楽部。

会員の訃報

笹川五月氏（洋画部会員・青美理事）が、長い間県美術界で活躍されておりましたが、平成9年6月ご逝去なさいました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

平成10年5月の部会役員改選により、17期34年にわたり部会長を勤められた西條征二氏が退かれ、後任に櫛淵魏が委員会の推挙により部会長に就任することが決まり、6月の美協総会において認められました。微力ではありますが、部会の発展のために尽くす所存でございますので、何卒よろしく願いいたします。その他、理事・委員については変更ありませんので申し添えます。

年間展望

◎県美術家協会顧問 福島正仁先生逝去

県美術展、県美術家協会の生みの親の一人であり、県写真界を今日の隆盛へ導かれた育ての親である福島正仁先生が6月17日他界されました。県写壇にとっては、かけ替えのない恩人を失ったこととなりますが、心からご冥福をお祈りいたします。

52回県展では、先生の遺作を展示し、ご遺徳を讃え偲びました。

◎第52回県美術展（第1期：11月8日～16日 県郷土文化会館）

審査員には、日本写真家協会副会長・東京工芸大学芸術学部教授 細江英公先生にお願いしました。出品数1,216点、入選入賞238点、入選率19.6パーセントという大変な激戦になりました。審査員からは、「阿波踊りなど地元を撮った作品が多く好感がもてた。レベルもかなり高く、また高齢者や女性の出品が多いのも素晴らしい」という総評をいただいた。

特選には川端武夫「誕生」（特別賞）、柳本正「ひととき」、坂田能啓「ザウルス」、逢坂登「春景」の各氏が選ばれ受賞した。

展覧会初日（11月8日）には、徳島新聞社、県美術家協会共催で徳島プリンスホテルで表彰式があり、各部門の受賞者が表彰をうけた。表彰式に引き続き受賞者、県展役員、美協役員、関係者多数によってオープニングパーティーが華やかに行われ有意義な時間を過ごすことができた。

◎第6回放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

出品点数の制限があるにも拘らず、400点に及ぶ応募があった。入選入賞186点とかなり狭き門となった。作品は内容的にもレベルの高いもの、意欲的な作品が多く、秋の県展とともに一大イベントとして定着した感がある。

審査員として西條征二、櫛淵魏、荒井賢治の三氏があたった。放美賞：大栗隆夫「氷

塊」、優秀賞：菅本享、宮野菁伍、向儀一郎、清水宗保、小林保子、柳本正、阿部美昭、多川静守、原井裕夫、東丸定子、粟田ふさえ、大和健司、坂東裕子、中川定典、森内昭男、瀬尾美智代の各氏が選ばれ受賞した。

◎美協写真部主催撮影会（6月22日）

毎年好評の写真部撮影会は本年は奈良へ行った。担当委員として三木晴夫、折野理悦、林敏彦、安長剛、古井謙吉、井藤光章の各氏があたり、42名の会員が参加した。第2阪奈道路の開通で予定より1時間早く到着し、東大寺、春日大社、飛火野、奈良町とそれぞれ分散し撮影を行った。

各分野での会員の活躍・会員所属の団体展等の活動状況

◎船越正文氏が写真集「見慣れた場所の見慣れぬ風景」を上梓

写真界でも権威ある玄光社発行の写真集フォトサロンの一冊に採用され平成9年秋に刊行された。11月15日には出版祝賀会が東急インにおいて、120人の写真人を集めて盛大に行われた。

◎第44回「阿波踊り写真コンクール」

1,735点の出展があり、昨年に引き続き森井禎紹氏が審査にあたり、特選に野藤敏美、岡村清、準特選に坂東裕子の各氏が入賞した。

◎JPS「日本写真家協会」展（5月24日～30日 東京都美術館）

荒井賢治氏が会員出品した。

◎第45回二科会写真部展（9月1日～ 東京都美術館）

荒井賢治氏が会友出品した。

公募入選は西條征二、潮満寿子、森住博、増田寿、田中節雄の各氏であった。

◎棚田フォトコンテスト（12月5日～7日 ヨンデンプラザ徳島）

最優秀賞に佐治孝、特選に西條征二、古井謙吉の各氏が入賞した。

◎とくしま88景写真コンクール（12月16日発表）

神戸ー鳴門ルート全通記念事業の一つとして開催され、徳島市出身の写真家 三好和義氏が審査にあたり、優秀作品に中川定典、川真田慶治の各氏が選ばれた。

◎第4回朝日四国写真展（11月9日審査）

大賞：森住博、県本部長：安長剛、特選：溝渕寛治、奨励賞：粟田ふさえ、大和健司の各氏が選ばれた。

◎第27回徳島県教職員美術展（1月31日～2月2日 県郷土文化会館）

写真部門の審査員は櫛淵魏。招待出品は井上光雄、勝西雅夫、西條征二、酒井博司、

武内亨、藤井梵の各氏

◎第5回コンタックスクラブ徳島支部展（1月17日～19日 ヨンデンプラザ徳島）

森住博支部長

◎第28回ナルトびんぼけクラブ写真展（2月9日～11日 鳴門市山高ギャラリー）

川上たかと会長

◎第12回全日本写真連盟県本部写真展（2月21日～23日 シビックセンター5Fギャラリー）

井藤光章県本部長

◎写一会写真展（5月12日～15日 ヨンデンプラザ徳島）

◎写真同人「炎」作品展（5月23日～25日 シビックセンター5Fギャラリー）

福島正仁主幹 西條征二会長

◎写団「無」第4回写真展（5月30日～6月1日 シビックセンター5Fギャラリー）

大野武会長

◎第3回「徳島ライカクラブ」写真展（6月9日～12日 ヨンデンプラザ徳島）

武内亨会長

◎渭東カメラクラブ写真展（6月27日～29日 ヨンデンプラザ徳島）

森賢一会長

◎第15回写真集団「風」作品展（6月27日～29日 シビックセンター5Fギャラリー）

安長剛会長

◎創立50周年記念 鋭光会写真展（7月25日～28日 シビックセンター5Fギャラリー）

西條征二、井上光雄、林治郎、近藤誠造、木田英之、三木晴夫の各氏が出品した。

◎第11回徳島花を写す会写真展（8月8日～10日 シビックセンター5Fギャラリー）

酒井博司会長

◎第1回二科会写真部徳島支部作品展（8月12日～15日 シビックセンター5Fギャラリー）

◎第32回日本光画会写真展（8月29日～31日 県郷土文化会館）

産経新聞社賞：川真田慶治、大阪市教育委員会賞：佐藤義雄、徳島新聞社賞：清水定七の各氏が選ばれた。

◎第37回徳島写楽会写真展（10月4日～6日 シビックセンター5Fギャラリー）

櫛淵魏会長

◎日本リアリズム写真集団徳島支部展（10月13日～15日 ヨンデンプラザ徳島）

藤井梵支部長

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

第52回（平成9年）県展は、審査員を多摩美術大学教授で行動美術協会会員の石井厚生先生にいただいた。出品点数は44点、そのうち入選は39点で例年よりやや増えている。今までに数多く見られた習作風の作品は少なくなり、実材（特に石材）を使った大作など大型で重量のある作品が増えた。そのために迫力のある、見応えのある展覧会場になった。審査評として「彫刻は概念（テーマ）、造形力、表現力の要素がある。抽象、具象を問わず作品が見る者にどれだけインパクトを与えるかが大事である。今回は作品のレベルの差ははっきりしており、幅広い素材を使った作品が多く見られた。」と話された。受賞作品では、特選（県美術家協会会長賞）に阿部佳代氏の“灰色の樹”が選ばれた。等身大の人物像であり「荒荒しくデフォルメされた表面処理が作品を生き生きとし、パワーを感じさせている」との審査評だった。年毎に着実に力をつけている作家である。準特選の居上真人氏“フラミンゴになりたいゾウ”は「軽妙でユーモラスな作品に仕上げている。」同じく準特選の笠井正彦氏“共有”は「造形がリズムカルで色の配置が上手である。」と評されている。二人とも石彫の技術を生かし持ち味を出した力作であった。

第6回放美展は入選27点で、放美賞に玉田悦子氏の“立つ”に決まった。量の動きがある力感溢れる作品であった。優秀賞には田中宏枝、中川伸一各氏の作品が選ばれた。全体に出品作品は質、量とも充実してきており、特に高校生、大学生の作品は個性的手法の見られるものが目立った。

審査員には鎌田邦宏、濱口恵、佐藤隆の三氏があたった。

会員消息

（県展・放美展関係は除く）

| | | | |
|------|-----|-----------------|-------------|
| 居上真人 | 3月 | 倉敷まちかどの彫刻展入選 | 倉敷 |
| | 6月 | 木内克彫刻展入選 | 茨城 |
| | | 枕崎ビエンナーレ入選 | 鹿児島 |
| | 7月 | 個展 | ギャラリー山口（東京） |
| | 9月 | 第82回二科展 会友推挙 | 東京都立美術館 |
| 井下俊作 | 9月 | 第52回行動展 会員出品 | 東京都立美術館 |
| | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 大津文昭 | 7月 | 個展 | 県立近代美術館 |
| | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |

| | | | |
|-------|-----|---|-----------------------|
| 河崎良行 | 8月 | 第13回徳島二紀展 | 県立近代美術館 |
| | 10月 | 第17回現代日本彫刻展 テレビ山口賞 第51回二紀展 | 宇部市野外彫刻美術館 東京都立美術館 |
| 鎌田邦宏 | 8月 | 第13回徳島二紀展 | 県立近代美術館 |
| 佐藤 隆 | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 濱口 恵 | 4月 | 第47回モダンアート展 会員出品：版画 | 東京都立美術館 |
| | 5月 | グランダ、レシュ日本フェスティバル 博愛賞：彫刻 | グランダ、レシュ・フランス |
| | 7月 | アルティク'97 欧日美術振興賞：版画 | カンヌ市サント・イヴ |
| | 9月 | アーネットヨーロッパ巡回展 オーストリー・ヒンターブル市に作品寄贈 (選考される) 版画 在ウィーン日本大使館に作品寄贈 (選考される) 版画 | イギリス、オーストリー、ベルギー |
| | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| | 11月 | 第17回関西モダンアート展 会員出品 | 大阪府立現代美術センター |
| 東 光司 | 12月 | 第31回モダンアート 徳島支部展 | 阿波銀プラザ |
| 松永 勉 | 1月 | 東京都立東高校モニュメント設置 | 東京都江東区 |
| | 2月 | 茨城県新利根町ふれあいセンター モニュメント設置 | 茨城県新利根町 |
| | 3月 | 県立阿北高校彫刻作品設置 | 板野郡土成町 |
| | 9月 | 第52回行動展 会員出品 | 東京都立美術館 |
| | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 クロスオーバー10現代美術展 招待出品 | 徳島中央公園 岡山県総合文化センター |
| | 11月 | 野外彫刻展in多々良木優秀模型展 | 神戸デュオギャラリー |
| 蒔田 寿 | 10月 | 第51回二紀展 | 東京都立美術館 |
| 林 一美 | 4月 | 彫美会展 | 四電センターギャラリー |
| 渋谷 吉昭 | 9月 | 足立区野外彫刻コンクール模型入選 | 東京都足立区 |
| | 10月 | 第35回徳島彫刻集団野外彫刻展 | 徳島中央公園 |
| 長岡 強 | 3月 | 第73回白日展 会員出品 | 東京都立美術館 |
| | 4月 | 第27回日彫展 日彫賞 (会員最優秀賞) | 東京都立美術館 |
| | 7月 | 翔展 日本彫刻会選抜 | 銀座ギャラリーせいほう |
| | 10月 | 徳島県秀作巡回美術展 依頼出品 | 県下6会場 |
| | 11月 | 第29回日展 会友出品 | 東京都立美術館 |

美術工芸部

部会長 山上 馨

年間展望

◎第52回県美術展（平成9年11月8日～16日 県郷土文化会館）

応募点数は161点（出品者数114名）で前回並みであった。入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）、入選86点、無審査12点を加えた総展示数は106点であった。

今年の審査員は国際陶芸アカデミー会員・京都市立芸大教授栗木達介先生にお願いした。総評では「アマチュアからプロまで幅広いレベルの作品が集まった。素材も多岐にわたり、バラエティーに富む作品が楽しめた。私はよくプロを対象に審査するが、技術だけでは評価できない。物を作る意欲や喜びを感じさせることが重要だ。今回も完成度より創意工夫にたけたものを選んだ。特選（県知事賞）の丸居哲雄氏の「剥落」《寄せ木細工》は、単純な図柄でありながら、きめ細やかで優れた造形力を感じさせる。シンメトリーの図柄は一般に静的なものが多いが、この作品は動きがあり、リズム感にあふれている。踊り子に付けられたシルエットが、人物の奥から迫ってくるような効果を生み、中央から端へいくほど暗くなる色使いも画面に深みを与えている。特選の平井恵子氏の「Glowing II」《織物》は、四角い枠組みの中にダイナミックな動きを表現した作品。力強い作風でありながら、緑色に濃淡をつけるなど、ディテールをきめこまかく表現している点がいい。バックの青と中央の黄緑の色使いも非常にバランスがとれている。全体にパッチワークのレベルが高く目を引いたが、オリジナリティーが不足しているので入賞には至らなかった。展覧会を見るなどして、美術造形のトレーニングを積みばもっとよくなると思う。焼き物は元気がなかった。技巧に走らず誠実に取り組むエネルギーを表現に変えてほしいと思う。…」と、美術工芸への取り組み方について貴重な示唆をいただいた。

| | |
|----------|-------------------|
| 特選（県知事賞） | 丸居 哲雄「剥落」 |
| 特選 | 平井 恵子「Glowing II」 |
| 準特選 | 犬伏 絢「海神のうた」 |
| ” | 岡崎 益子 乾漆食籠「草花あそび」 |
| ” | 矢野順三郎「草文壺」 |
| 奨励賞 | 井後 善朗「花器A」 |
| ” | 吉田 敏明「小春日」 |
| ” | 矢藤 明美「雪蛩」 |

◎第6回放美展（平成9年5月1日～5日 県郷土文化会館）

応募点数は114点（出品者数81名）で前回をやや上回り、活況を継続し発展の兆しが見えることは喜ばしいことである。入賞6点（放美賞1点、優秀賞5点）、入選61点、無審査4点で総展示数71点であった。作品は各ジャンルが出揃い力作が目立った。

| | |
|-----|-----------------------|
| 放美賞 | 隅田 良佑「焼締斜線紋壺」 |
| 優秀賞 | 鳥井 明子「風冴える」 |
| ” | 四十宮年代「紫陽」（手絞りすなご染訪問着） |
| ” | 三原 春美「春光」 |
| ” | 斎藤 和彦「炎の詩」 |
| ” | 矢野 雄也「高島慕情」 |

会員消息

（県展・放美展関係は除く）

| | | | |
|--------|-----------------------------------|-----|-----------|
| 多智花佐代子 | ・第36回日本現代工芸美術展（会員出品） | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・第8回現代工芸ゆめいろ展 | 5月 | 高松・三越 |
| | ・第29回日展 | 11月 | 東京都立美術館 |
| | ・第35回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松・三越 |
| 九十九健二 | ・第一美術展 | 5月 | 東京都立美術館 |
| 新居 猛 | ・日本インテリアデザイナー協会 「デザイン保護セミナー」講師 | 3月 | 大阪・住江織物 |
| | ・Gマーク「ロングライフデザイン賞」 | 10月 | 東京・通産省 |
| 西 浩子 | ・第36回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・第83回徳島県女流美術家協会展 | 8月 | 県郷土文化会館 |
| | ・第35回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松・三越 |
| 平井 恵子 | ・第35回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・日本現代工芸近畿展 | 4月 | 京都市美術館 |
| | ・大津市美術展（無鑑査出品） | 7月 | 大津市歴史博物館 |
| | ・滋賀県美術展（特選） | 11月 | 滋賀県立近代美術館 |
| 平野仁太郎 | ・第25回徳島市芸術祭文化展（市長賞） | 4月 | 県郷土文化会館 |
| 村上 正典 | ・日府展 | 5月 | 東京都立美術館 |
| | ・正倫会展 | 7月 | ヨンデンプラザ徳島 |
| | ・第25回徳島市芸術祭文化展 | 4月 | 県郷土文化会館 |
| 森 賢一 | ・第36回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ・第35回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松・三越 |
| 森 昌男 | ・中部染色展（会員出品） | 7月 | 愛知県美術館 |

| | | | |
|-------|--|-----|------------------|
| | ◦ 日本総合美術展（国務大臣・科学技術庁長官賞） | 9月 | 京都市美術館 |
| 四十宮年代 | ◦ 第25回徳島市芸術祭文化展（招待出品） | 4月 | 県郷土文化会館 |
| | ◦ 第32回中部染色作家協会展 | | |
| | 第2部きもの部門1席（朝日新聞社賞） | 7月 | 愛知県美術館 |
| | ◦ 四十宮年代個展（創作刺しゅうと手絞りすなご染） | 10月 | 県郷土文化会館 |
| 大西 義浩 | ◦ 第1回陶壺陶音大谷焼展 | 3月 | 徳島・しまだ |
| | ◦ 第39回日本民芸公募展 | 11月 | 大阪・財団法人日本 工芸館 |
| 松山 豊 | ◦ 徳島創作陶芸展 | 3月 | アミコ・シビックセンター |
| | ◦ 第50回鳴門市展 | 10月 | 鳴門市市民会館 |
| | ◦ 松茂町文化祭 | 10月 | 松茂資料館 |
| 矢野 款一 | ◦ 大谷焼「大物に挑む」 | 1月 | 県立近代美術館 |
| | ◦ 日本伝統工芸展正会員展 | 5月 | 東京・三越 |
| | ◦ 日本工芸会四国支部展（会員出品） | 11月 | 高松・三越 |
| | ◦ 陶の会焔 | 12月 | 洲本市民会館 |
| 影谷美代子 | ◦ 徳島平和美術展 | 5月 | 県郷土文化会館 |
| | ◦ 藍染五つの世界三人展 | 6月 | ヨンデンプラザ徳島 |
| | ◦ 小松島市芸術祭染色展 | 11月 | 小松島市中央会館 |
| 山本 和子 | ◦ 第36回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ◦ 第8回徳島現代クラフト展 | 〃 | 県郷土文化会館 |
| | ◦ 祈りの藍全国染織作家創作展 | 10月 | 藍住町歴史館 |
| | ◦ 第35回現代工芸美術家協会四国会展 | 12月 | 高松・三越 |
| 斎藤 和彦 | ◦ 日本七宝作家協会展（協会賞） | 1月 | 東京都立美術館 |
| | ◦ 日本七宝作家協会国際展 | 9月 | 上野の森美術館 |
| 小栗加代子 | ◦ 第36回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ◦ 第8回現代工芸ゆめいろ展 | 5月 | 高松・三越 |
| | ◦ 現代工芸四国展 | 〃 | 香川県文化会館 |
| | ◦ 第一美術展 | 〃 | 東京都立美術館 |
| | ◦ 手工芸家協会25周年記念展 | 7月 | モンテカルロ国際会議場 |
| | ◦ 長野県染織作家協会展 | 8月 | 長野県豊科町立美術館 |
| | ◦ インターナショナルキルトウィーク'97 横浜 | 11月 | 横浜みなとみらい21 |
| | ◦ 徳島県立海南高等学校オープンスクール もめんの詩in海南ハイスクール展 | 11月 | 海南高等学校 |
| | ◦ 第15回もめんの詩パッチワークキルト展 | 12月 | 県郷土文化会館 |

| | | | |
|-------|----------------------------------|-----|-----------|
| 堺 都美子 | ◦ 第36回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | ◦ 徳島平和美術展 | 5月 | 県郷土文化会館 |
| | ◦ 藍住町美術展 | 10月 | 藍住町社教会館 |
| 橋 恵 | ◦ 第2回個展 | 2月 | 阿波之里 |
| | ◦ “染織α”誌5月号に「阿波藍による 型染めの創作」掲載 | 4月 | 染織と生活社 |
| | ◦ 徳島平和美術展 | 5月 | 県郷土文化会館 |
| | ◦ 平成9年度文部省主催 「産業教育新技術講習会」開催 | 7月 | 藍染工芸館 |
| 宮本 孝 | ◦ 徳島平和美術展 | 5月 | 県郷土文化会館 |
| 丸居 哲雄 | ◦ エナジー'97（障害者文化祭） | 9月 | 県立近代美術館 |
| | ◦ 上板町美術愛好会展 | 11月 | 上板町中央公民館 |
| 富田ちえ子 | ◦ 第30回徳島県芸術祭（奨励賞） | 1月 | ヨンデンプラザ徳島 |

書 道 部

部 会 長 新 居 藍 州

年間展望

1997年度からはじまる県新長期計画のなかで、文化・芸術拠点施設の整備事業が設定され、文学館・書道美術館（仮称）基本構想策定事業費2,000万円が計上された。平成8年11月の陳情が早くも実現を見たものでまことによろこばしいことであった。

基本構想検討委員として文学・書道関係者、各種団体代表、学識経験者等18氏が任命された。7月30日第1回の委員会が開かれ、徳島文理大学部長の岸田元美氏が委員長に選出された。書道関係では田中双鶴、久保幽香の両氏と新居の三名が委員として参加している。基本構想のなかでは、従来の美術館がもっている展示・収蔵機能の上に、生涯学習機能をも重視して書の理解者、受け手の養成を図るとともに、架橋新時代に適応する観光的機能をも加えて従来見られなかった新しい形の書道美術館が検討されている。また、文学館との併設ということから共有する領域としての「文字（ことば）」に関する学術的な課題も研究対象となるであろうし、「読める書」ということについても考察の場を得ることになるであろう。

◎ 第52回県展については、出品点数は1,333点と今年も盛況であったが、前回につづいて各部門とも1点出品が増えた。今回審査員の選評には2点出品に対して厳しいものがあつた。部門によって出品者の考え方はそれぞれ異なると思うがやはり1点出品化の傾向が強くなるであろう。

◎ 第6回放美展の公募出品は144名の151点で前回と殆ど不変であり出品者の層も定着したようである。何分にも壁面の制約があり入選点数も限られていて入選率は67%にとどまった。

◎ 永年にわたり委員（理事）として協会発展に尽力された西岡楚峰氏が4月24日逝去された。ご冥福をお祈りする次第である。

◎ 第1回県民文化祭協賛事業

| | | |
|----------------|---------|------------|
| ・第60回記念 徳島書芸院展 | 県郷土文化会館 | 9月4日～9月7日 |
| ・第20回泉心会書作展 | 県郷土文化会館 | 9月12日～ 15日 |
| ・第26回徳島雪心会書作展 | 県郷土文化会館 | 9月13日～ 15日 |
| ・第27回東玄書道会展 | 県郷土文化会館 | 9月13日～ 15日 |
| ・第27回光輪社書作展 | 県郷土文化会館 | 9月17日～ 19日 |
| ・第10回記念 阜玄書道会展 | 県郷土文化会館 | 9月21日～ 23日 |

| | | | |
|------------------|------------|---------|--------|
| ◦ 第27回直心会書展 | 県郷土文化会館 | 9月26日～ | 28日 |
| ◦ 第2回玉城乾香書作展 | 県郷土文化会館 | 9月26日～ | 28日 |
| ◦ 第24回双暢会書展 | 県郷土文化会館 | 10月9日～ | 10月11日 |
| ◦ 第9回睦月会書展 | 徳島シビックセンター | 10月18日～ | 20日 |
| ◦ 第19回書研社展 | 徳島シビックセンター | 11月29日～ | 12月1日 |
| ◦ 第32回清潮書作展 | 県郷土文化会館 | 12月5日～ | 7日 |
| ◦ 第17回かな書道研究会書作展 | 県郷土文化会館 | 12月6日～ | 8日 |

個人消息 (平成9年1月～12月)

1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し、作品を発表した人々

- 第38回太玄会書展 (東京都美術館 1/11～17)
田中双鶴・中谷史子・近藤静苑・中尾勝子・竹田和代・富久鳴泉・広島章子
春藤大耿
- 第19回青潮会全国展 (大阪市立美術館 1/13～19)
西 南龍
- 東京書作展選抜作家展 (東京都美術館 2/24～3/2)
田中双鶴・春藤大耿
- 第33回創玄展 (東京都美術館 3/7～12)
荒井天鶴・荒井彭仙・玉城乾香・永松春苑・佐原和清・高岡晃祥・坂本霄風
久保幽香・岸 潮風・芝原醒鶴・浜 佳香・多田清芳・長原皐鷗
- 聖雲書道会展 (岡山文化センター 3/25～30)
勝瀬景流・吉岡景鷗・薄田玲泉・河野真流
- 第16回日本刻字展 (東京都美術館 3/7～12)
横田素林
- 第51回日本書芸院展 (大阪市美術館ほか 2/11～16 4/8～13)
上田溪水・東 南光・伊丹東龍・山口華城・隅田英二・西岡五峰・島田小園
高田青蓮・長江頌石・吉田素川・勝瀬景流・東 弥生・薄田玲泉・吉岡景鷗
- 第13回日本篆刻展 (大阪市立美術館 5/13～18)
横田素林
- 第20回日本かな書展 (東京日本橋高島屋 5/15～20)
讃岐泰泉・藤若美風
- 第32回太玄会役員書展 (東京新宿朝日生命ビル)
田中双鶴・春藤大耿
- 現代の詩と書の世界展 (東京セントラル美術館 6/3～8)

久保幽香

- 朝陽会展（岡山文化センター 6/18～22）
勝瀬景流・薄田玲泉・吉岡景鵬・倉本景雨
- 創玄小品展（東京アートサロン毎日 6/23～29）
久保幽香
- 第49回毎日書道展（東京都美術館 7/8～17 愛媛県立美術館 8/12～17）
荒井天鶴・荒井彭仙・玉城乾香・永松春苑・久保幽香・岸 潮風・芝原醒鶴
浜 佳香・多田清芳・長原皐鵬
- 第14回産経国際書展（東京サンシャインシティ文化会館 7/26～30）
讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・井川敏子
- 日本書道学院選抜展（東京銀座松阪屋 7/20～28）
勝瀬景流・吉岡景鵬・薄田玲泉・上田輝芳・河野真流・赤川景舟・近藤俊流
- 日本の女流書展（東京セントラル美術館 8/5～10）
久保幽香
- 比田井天来とその展開（函館美術館 8/26～9/20）
久保幽香
- 第14回読売書法展（広島県立美術館 10/7～13）
東 南光・伊丹東龍・上田溪水・隅田英二・高田青蓮・新居藍州・能仁華瑤
張 美鶴・東 弥生・勝瀬景流・河野真流・薄田玲泉・長谷美峰・吉岡景鵬
- 第23回創玄現代書展（東京セントラル美術館 11/4～9）
久保幽香
- 第19回東京書作展（東京サンシャインシティ文化会館 12/2～7）
田中双鶴・近藤静苑・中尾勝子・春藤大耿

2. 中央展・県外展に入賞した人々（社中展を除く）

- 第38回太玄会書展（東京都美術館 1/11～17）
 - （奨励賞） 笠井宣江・由利里子・菱崎華涛
 - （新人賞） 西宇明美
 - （推薦） 阿部博子・西 直子
 - （準推薦） 高橋武子・藤本満里子・加藤香都子
 - （特選） 笹田和美・原田味佳・田上洋香
 - （準特選） 原田千苑
- 第52回日本書芸院展 2月展
 - （一科推薦賞） 松浦翠篁・伊勢春瓊
 - （二科推薦賞） 谷口清水・小津瑠華・矢野鮮華・河野春霽・由宇星華

- 第52回日本書芸院展 4月展（大阪市立美術館 4／8～13）
 - （特別賞） 森 光翔・清水桂月・能仁華瑤・古川秀蕙
 - （特 選） 奥本飯山・熊代厚子・藤岡千江子・美馬潤子・海原暁風・小西玉翠
藤田喜美・八木藍玉・安田宏子・品川淹華・井上虹雨・佐川菁流
赤川景舟・倉本景雨・竹内虹舟・近藤俊流
- 第16回日本刻字展（東京都美術館 3／7～12）
 - （特 選） 吉田素川
- 第14回産経国際書展（東京池袋サンシャイン文化会館）
 - （無鑑査準大賞） 武市勝恵
 - （特 選） 西浦千代里・河野静江・浅野義雄・向井幸子・高橋宗見
 - （秀 作） 近藤紅恵・藤原育代・出口末喜子・小西敬子・高島美恵子・米田重子
佐藤松子・中谷つや子・井内 愛・姫野祥光
- 第49回毎日書道展（東京都美術館 7／8～17）
 - （秀 作） 高岡晃祥・坂本霄風・大西 眸・折田浩翠・武樋清香
- 第14回読売書法展（広島県立美術館 10／7～13）
 - （特 選） 春藤大耿・清水桂月・上田輝芳・竹内虹舟
 - （秀 逸） 美馬潤子・佐々木華月・長江頌石・吉田素川・豊浦春光・古川秀蕙
福家美鵬・宮森崇流・佐川菁流・井上虹雨
- 東京書作展（東京サンシャインシティ文化会館 11／4～9）
 - （特別賞） 笠井宣江・山本恵子・山中真紀
 - （特別賞候補） 炭谷葭江・須原理恵・西谷香峰・福島由佳・福田世津子
 - （準推薦） 高橋武子・藤本満里子・加藤香都子
 - （特 選） 笹田和美・原田味佳
 - （準特選） 原田千苑
 - （優秀選） 草刈明美・久住律子・古泉美代子・家永竹香・籙 品子・原田尚鳳
広島章子・吉本道子
 - （奨励賞） 阿部芳雲・井川幸子・詫間勝陽・松永裕子・福井知子・馬居汀香
椎野春翠
- 第29回日展（東京都美術館 11／2～24）
 - （入 選） 東 弥生

3. 個展その他

- 第9回東南光書作展（阿波之里 1／1～2／2）
- 前衛書3人展（前川・日下・原田）（恰美術館 4／1～30）
- 第1回書朋6人展（徳島市シビックセンター 5／3～5）

- 第12回正鋒会書展（徳島市シビックセンター 5/15～18）
- 第4回大叢会書作展（県郷土文化会館 7/25～27）
- 第23回克展（徳島市シビックセンター 11/1～3）

デザイン部

部会長 福井 章

年間展望

1997年は徳島のデザイン界に素晴らしい出来事があった年として記録されるであろう。一つはデザイン部会員の敷島のり子氏が権威ある国際展第5回世界ポスタートリエナーレトヤマで入選したこと、もう一つは、会員ではないが藤本孝明氏がニューヨークADC展とヘルシンキ国際ポスター・ビエンナーレで特別賞を受賞したことである。これらの快挙は、すでに国際的に活躍している板東孝明氏に続くものとして、徳島のデザイン界全体の誇りであり祝福すべきものである。

第6回放美展は審査員に坂野美恵子、斎藤繁次、福井章の三氏があたった。応募点数84点のうち42点が入選した。放美賞は敷島のり子、優秀賞は福川美和、的井瑞枝、宮岡江理子、北島豊嗣の各氏が選ばれた。放美展での作品としてのデザイン性が確実に高まってくのが感じられた。

第52回県美術展は、審査員にU・Gサトー氏（日本グラフィックデザイナー協会理事）を迎えて行われた。応募点数143点で、うち入選54点で厳しい審査となった。特選（県教育長賞）には敷島のり子、特選に小笠原重昭、準特選に沢口功、吉成敏史、的井瑞枝、奨励賞に溝淵良枝、背川光恵、宮岡江理子の各氏が選ばれた。「全国的にみてもレベルが高い」というサトー氏から評を頂いた。特に小笠原重昭氏は町の魚屋さんで初出品が特選になったことで話題になった。

恒例となっている干支展は、今年を「干支ファイナル展」と名付けて13年間にわたった作品展（昨年は取りやめた）の最後として県立近代美術館で開催した。最終回にふさわしく全会員14名、56点の作品が各各の作風で飾られ、12年間を総括するものとなった。なお、各会員の干支（トラ）のオリジナル絵葉書と干支いりTシャツのプレゼントは好評を得た。

1997年のデザイン部会は何ととっても敷島のり子氏の活躍に尽きる。各種の展覧会の受賞に、制作した県展のポスター、作品集、チケットのデザインもの好評を呼んだ。

1997年（平成9年）行事

■第6回 放美展（5月1日～5日 県郷土文化会館）

審査員：坂野美恵子・斎藤繁次・福井 章

出品点数：84点 入選42点

放美賞：敷島のり子

優 秀 賞 : 北島豊嗣

■第52回徳島県美術展 (11月8日~16日 県郷土文化会館)

審 査 員 : U・Gサトー (東京)

出品点数 : 143点 入選54点

賛助出品 : 坂本三千一

招待出品 : 斎藤繁次・坂野美恵子

特別出品 : 福井 章

特選(県教育長賞) : 敷島のり子

準 特 選 : 沢口 功

■干支ファイナル展 (12月14日~24日 県立近代美術館)

出 品 者 : デザイン部会員 14名

作品点数 : 56点

■徳島県秀作巡回美術展 (10月14日~12月4日 県下6町)

出 品 者 : 浅野昌哉・坂本三千一・田中一郎・斎藤志津子

会員消息

(放美展・県展関係は除く。順不同)

■坂本三千一

- | | | |
|-----|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1月 | ペーパークラフト四国地区展 (最終回審査委員) | シビックセンター 日本たばこ |
| 2月 | 藍住町街づくり懇話会 | 藍住町役場 |
| 5月 | JRTインターネットホームページ 「狸の祠めぐり」ディレクション | 四国放送 |
| 10月 | 県秀作巡回美術展出品 県内各所 中四国会員デザイン展出品 | 県生活文化国際総室 山口県サンパークあじす JAGDA |
| 12月 | デザイン部会「干支ファイナル展」 | 県立近代美術館 |

■敷島のり子

- | | | |
|-----|--|-------------------------|
| 3月 | 敷島のり子グラフィックデザイン展 (第2回) | 四国電力(株)鳴門営業所 四電ギャラリー |
| 4月 | 徳島市芸術祭 (文化祭) 招待出品 第5回世界ポスタートリエンナーレトヤマ1997 文化部門入選 | 県郷土文化会館 |
| 7月 | 世界美術展 | アミコシビックセンター |
| 9月 | 徳島デザインドリームポスター作成 | |
| 10月 | 徳島デザインドリーム特別展示 (実行委員) | |

徳島県美術展ポスター作成

12月 デザイン部会「干支ファイナル展」 県立近代美術館

■田中一郎

9月 第5回“燃えさかる西陽”音楽祭 in 青木邸ポスター、
チラシ、パンフレットのデザイン

10月 “伊井須真子メゾソプラノリサイタル”ポスター、
チラシ、パンフレットのデザイン

11月 合唱構成ミュージカル“ぞうれっしゃがやってきた”
ポスター、チラシ、チケットのデザイン、舞台美術担当
ヴォーカルグループ Sole コンサートポスター、
チラシ、チケットのデザイン

12月 デザイン部会「干支ファイナル展」 県立近代美術館

■沢口 功

4月 徳島市芸術祭文化展（招待出品） 県郷土文化会館

5月 沢口功展（個展） 那賀川町立図書館

10月 徳島ドリーム展出品 徳島市立木工会館

12月 デザイン部会「干支ファイナル展」 県立近代美術館

■北島豊嗣

3月 徳島市芸術祭文化展 徳島市議会議長賞 県郷土文化会館

11月 ごっつい in あわ参加 文化の森21世紀館

12月 デザイン部会「干支ファイナル展」 県立近代美術館
クリスマスポスター展（個展） 森珈琲店

■斎藤繁次

2月 斎藤繁次イラスト展 ドクターエンドー鳴門店

7月 斎藤繁次イラスト展 トマト インターネットギャラリー

9月 斎藤繁次・斎藤志津子コンテンポラリーアート展 県立近代美術館

10月 雑学大学「スライドアートをたのしもう」 シビックセンター

11月 ごっつい in 阿波/Gods in Awa展 文化の森21世紀館

12月 デザイン部会「干支ファイナル展」 県立近代美術館

■斎藤志津子

2月 斎藤志津子イラスト展「FLOWERS」 小松島市 喫茶やまなみ

9月 斎藤志津子・斎藤繁次コンテンポラリーアート展 県立近代美術館

- 11月 ごっつい in 阿波/Gods in Awa展 文化の森21世紀館
 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館

■四十宮隆志

- 1月 第2回ぐるぐる展出品《鳴門教育大学OB主催》
 デザイン4点・映像2点
 3月 劇団トゥギャ座《徳島演劇協会主催》
 旗揚げ公演作品「ベッカニコおに～あいまいな結果の隙間にて」
 オープニング・舞台映像監督
 11月 第28回アニメーション全国集会 in 神戸
 徳島アニメスタジオ作品出品及び参加
 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館

■坂野美恵子

- 3月 第3回アジアグラフィックポスター
 トリエンナーレ展（ソウル）出品
 8月 第10回全国和紙画展出品
 9月 第82回二科展デザイン部門会友出品
 10月 第9回徳島デザインドリームデザイナー紹介展出品
 第36回京都デザイン大賞コンペポスター大賞展
 佳作賞受賞（地球温暖化防止京都会議）
 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館

■福井 章

- 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館
 第26回歳末チャリティー作品・色紙即売展 徳島新聞社社会文化事業団 そごう

■吉本 實

- 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館
 第1回徳島県文化協会フェア
 ポスター、パンフレット、チケットのデザイン制作

■浅野昌哉

- 10月 県秀作巡回美術展出品 県内各所 県生活文化国際総室
 12月 デザイン部会「千支ファイナル展」 県立近代美術館

平成9年度 第1回徳島県民文化祭

第52回徳島県美術展（県展）公募規定

| 区分 | 部門 | 日本画 | 洋画 | 写真 | 彫刻 | 美術工芸 | 書道 | デザイン |
|--------------|----|--|--------|--------------|--------|------------------|----------------|-----------|
| 搬入日 | | 10月12日 | 10月11日 | 10月19日 | 10月12日 | 10月12日 | 10月18日 | 10月12日 |
| 搬入先 | | 徳島県郷土文化会館 | | | | | | |
| 審査日 | | 10月12日 | 10月12日 | 10月19日 | 10月12日 | 10月12日 | 10月19日 | 10月12日 |
| 審査員 | | 那波多目 功一 | 松樹 路人 | 細江 英公 | 石井 厚生 | 栗本 達介 | 甫田 鷄川 小山 飛博 | U. G. サトー |
| 出品料 | | 協会員 1点目 2,500円 | | その他の方 3,500円 | | 2点目からはすべて 1,500円 | | |
| 出品制限・大きさ・仕上げ | } | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 |
| | | | | | | | | |
| 入賞 | } | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 | 特別賞 1点 |
| | | 特選 2点 | 特選 3点 | 特選 4点 | 特選 1点 | 特選 2点 | 特選 8点 | 特選 2点 |
| その他 | } | 準特選 3点 | 準特選 5点 | 準特選 8点 | 準特選 2点 | 準特選 3点 | 準特選 13点 | 準特選 3点 |
| | | 奨励賞 3点 | 奨励賞 5点 | 奨励賞 8点 | 奨励賞 2点 | 奨励賞 3点 | 奨励賞 13点 | 奨励賞 3点 |
| | | 入選 規定数 | 入選 規定数 | 入選 規定数 | 入選 規定数 | 入選 規定数 | 入選 規定数 | 入選 規定数 |
| | | （各部門とも特別賞は特選の内数） | | | | | | |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月16日（日）、二期は11月25日（火）の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 | | | | | | |

第 52 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| (招 待) | 中 川 健 | 岡 英 彦 | 土 方 るみ子 |
| | 西 野 和 男 | 土 井 洋 子 | |
| (賛助出品) | 森 蔦 苑 | 高 田 瑞 雪 | 長 谷 壽 |
| | 釣 島 冬 樹 | | |

☆ 洋 画

| | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| (特別出品) | 佐 野 比呂志 | 永 山 隆 二 | 長 井 公 雄 |
| (招 待) | 清 水 亟 悞 | 川 原 康 孝 | 楠 瀬 等 |
| | 高 橋 敬 | 立 岩 巖 | 露 口 敏 幸 |
| | 服 部 裕 | 岡 本 征 二 | 長 尾 弘 久 |
| (賛助出品) | 浅 田 二 郎 | 天 野 節 雄 | 大 神 良 代 |
| | 岡 多美子 | 柏 木 雅 雄 | 河 田 安 市 |
| | 黒 崎 志 郎 | 後藤田 仁 一 | 板 東 俊 一 |
| | 榊 田 務 | 松 川 寛 | 岡 田 守 |

☆ 写 真

| | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| (招 待) | 増 田 清 次 | 井 上 光 雄 | 木 田 英 之 |
| | 西 條 征 二 | 勝 西 雅 夫 | 藤 井 梵 魏 |
| | 武 内 亨 司 | 笹 田 敏 雄 | 櫛 渕 照 文 |
| | 酒 井 博 司 | 三 好 和 義 | 上 野 照 文 |
| | 森 賢 一 | 橋 本 圭 祐 | 安 長 剛 彦 |
| | 前 浦 芳 久 | 荒 井 賢 治 | 林 敏 彦 |
| | 多 田 晴 美 | 古 井 謙 吉 | |
| (無 鑑 査) | 大 和 健 司 | 中 野 建 吉 | 船 越 正 文 |

☆ 彫 刻

| | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| (特別出品) | 河 崎 良 行 | | |
| (招 待) | 佐 藤 隆 | 濱 口 恵 | 井 下 俊 作 |
| | 鎌 田 邦 宏 | 松 永 勉 | 大 津 文 昭 |
| (無 鑑 査) | 蒔 田 寿 | | |
| (賛助出品) | 長 岡 強 | | |

☆ 美術工芸

| | | | | | | | |
|--------|---------|-----------|--|--|--|-------|---------|
| (特別出品) | 山 上 馨 | | | | | | |
| (招待) | 新 居 猛 | 高 橋 勇 | | | | 森 昌 男 | 松 下 雄 介 |
| | 七 条 猪三郎 | 多 智 花 佐代子 | | | | | |
| | 松 下 慶 一 | 森 賢 一 | | | | | |
| (贊助出品) | 村 上 正 典 | 中 川 存 | | | | | |

☆ 書 道

| | | | |
|---------|---------------------|-------------------------|---------------------|
| (特別出品) | 荒 井 天 鶴 | 田 中 双 鶴 | 田 中 栢 翠 |
| (招待) | 新 久 保 幽 州 | 讚 宮 岐 井 泰 泉 | 長 原 尾 阜 鵬 |
| | 高 原 清 泉 | 西 原 南 宵 龍 | 成 芝 美 幾 美 賀 |
| | 渡 前 川 古 石 舟 | 原 清 岸 水 桂 潮 | 美 中 川 上 虹 泉 |
| | 春 藤 大 耿 峰 | 勝 瀨 藤 島 順 華 | 川 上 田 井 若 美 風 |
| | 長 谷 美 好 驚 翠 | 近 岡 山 中 尾 松 本 本 | 上 田 井 若 藤 田 小 佳 清 |
| | 三 日 竹 武 富 吉 隅 玉 高 東 | 勝 近 岡 山 中 永 坂 松 三 浦 富美代 | 川 上 田 井 若 藤 田 小 佳 清 |
| (無 鑑 査) | | | |
| (贊助出品) | | | |

☆ デザイン

| | | | |
|--------|-----------|---------|---------|
| (特別出品) | 福 井 章 | | |
| (招待) | 斎 藤 繁 次 | 坂 野 美恵子 | 浅 野 昌 哉 |
| (贊助出品) | 坂 本 三 千 一 | | |

あ　と　が　き

1998年報をおとどけいたします。

徳島県美術展が52回展、放美展が6回展を開催いたすことができました。県美術展が約13,000名、放美展が約5,000名の鑑賞者があり、それぞれの展覧会の目的を果たすことができましたと思っております。

さらに本年から（財）徳島県文化協会が第1回県文化協会フェアを開催することになり、本会も「第1回徳島県美術家協会選抜展」として参加し、7部門から82点の出品をいただきました。会期も3日間ですが、約1,800人の鑑賞者があり盛会裡に終わることができました。

昨年从这个年報の版を大きくし、名簿なども充実いたしました。このたびも例年のように、各部長から各部の平成9年の動きについてまとめたいただき掲載いたしました。表紙については、写真部の荒井賢治氏からいただきました。

これからも春の放美展、秋の県美術展には皆さんお誘いあわせでご出品くださるようお願いいたします。

会員の皆さんがご健勝で創作活動に励まれ、多方面でご活躍くださいますとともに、本会が発展いたしますようご協力の程お願い申し上げます。

平成10年3月

県美術家協会事務局

美　術　年　報　1998年

平成10年3月30日 印刷

平成10年3月31日 発行

編集者 清 水 博

装幀者 荒 井 賢 治

発行人 佐 野 比呂志

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

